

第1回石垣市観光審議会 資料

- | | | |
|---|------------------------------|---------|
| 1 | 概要および石垣市の今年度の取組み | P1～P10 |
| 2 | 沖縄県の制度設計案・ツーリズム産業団体連合会の意見 | P11～P13 |
| 3 | 沖縄県内の市町村の法定外目的税（宿泊税）導入に向けた動き | P14 |
| 4 | 石垣市の今後のスケジュール案 | P15 |
| 5 | 市民アンケート速報の紹介 | |
| | （1）市民を対象としたアンケート調査結果 | P17～P42 |
| | （2）高校生を対象としたアンケート調査結果 | P43～P55 |
| 6 | 参考資料（宿泊税導入地域） | P56 |

■財源が増えても使える予算は増えない

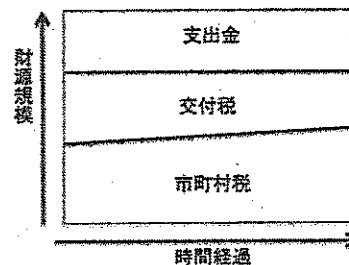
- ✓ 日本の自治体の財務構造は特殊であり、自治体の90~95%以上が赤字である。
- ✓ 自治体が破綻しないよう、自治体が一年間運用するのに必要なお金を総務省が計算し、その基準政需要額から、税収を引いたものが赤字になる。この赤字分を総務省は交付税として各市町村に出す。
- ✓ 石垣市で人口が増えた、ホテルも元気になった、ホテルでの雇用も増えた、新しいホテルもできた、固定資産税収も上がり、住民税収も上がった。しかし、赤字である状態は変わらず、市町村税が増えたと国からの交付税は減るので、市財政は豊かにならない。
- ✓ 石垣観光はここ30年で、非常に成功して観光が振興したのだから、石垣市はもっと豊かになってもいいはず(海外ではそうなる)。しかし、このような財政構造であるが故、観光が成功すればするほど、実は石垣市の財政は厳くなる。
- ✓ 限られている財政の中から観光振興に割り当てる予算を増やせば、石垣市民の生活にも影響が出る。観光振興にお金を回せば回すほど、観光振興が成功して観光客数が増えていけばいくほど、石垣市の財政は厳しくなっていく。そのような中においても、これから先、石垣市としては、国際的な観光競争に勝っていかないとお客様は取れない。

■観光振興財源の必要性と位置づけ

- ✓ 日本人マーケットは現在の市場規模がピークで現状より増えることは基本的でない。これから先はインバウンドのお客さんをどれだけ取ってくるかということが重要になってくる。
- ✓ これから先のライバルは、プーケット、バリ島、ハワイということになっていく。それらの国々は潤沢のファイナンスを駆使して観光振興をしている。そういうところともこれから戦っていかない中で、石垣市が10年後も競争力を維持できるかどうか。
- ✓ 20年前に地方税制の改革があり、都道府県、市町村に対して課税自主権を認めることとなった。この中で、今注目されているのが宿泊税である。
- ✓ 宿泊税は、総務省の計算の枠外なので、この税収が増えても、交付税が減らされない。

独自財源が増えても使える予算は増えない

- 市町村税は、市町村民税(住民税)と固定資産税で約8割を占める。
- 歳入に占める独自財源(市町村税)の比率は、15%程度でしかない。
- 歳入と歳出の差額は、一定の計算式に基づき、交付税や国庫支出金の形で補填される。
- そのため、仮にホテル建設によって固定資産税が増えても、市町村の財政規模は拡大しない。



観光客が増えれば、地域側に求められる対応も増えるが、そのコスト(や投資)を負担する財務システムになっていない。

8-3 勉強会《1月17日》

■税額の設定

- ✓ 税率に関しては、実は議論の余地がないのが実態である。現在は200円か2%となっている。
- ✓ 総務大臣は同意の要件の一つに「過重な負担になってないか」ということのチェックがある。納税者の方たちがそれを税金として負担を感じないかということと言われる。

■定額と定額

- ✓ 定額性の場合、人数が増えないと税収が増えない。人数と税種が連動しているので、人数を増やしていくことが目的になりがちである。
- ✓ 人数を増やそうとして、ベッド数を増やす方向となれば、まさしく人手不足に陥る。現状、既に人手不足で非常に悩まれているのではないかと思う。
- ✓ 定率性の場合、消費額を増やしていくことになる。単価を上げていく方向であれば、今のベッド数の中で、1万円を1万2千円にする、というような戦略を立てていくのが適切ではないだろうか。

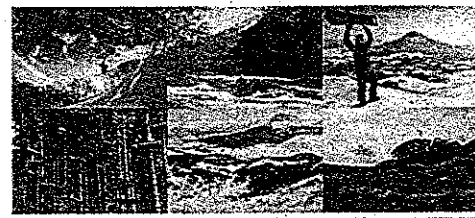
■中期的な「使途」を マスタープランとして示す

- ✓ 一地方自治体として、自分たちが自由に使える独自の財源として、コンスタントに数億円のお金が入ってくる。その時の計画の立て方は、従来のものから大きく変わってくる。

- ✓ その戦略が計画がうまく進んでいたら、例えば、観光客数や観光消費が増えるという結果になる。それが増えれば税収も増える。税収が増えていけば、できることが増えていく。
- ✓ 石垣市で宿泊税を導入しようとして決めて動いていく時には、どのようなところにお金を使って投資をしていけば、石垣の観光が強くなるか。マーケットは変化し、目の肥えた人たちがばかりになる。皆様がその議論に参加することが大切である。
- ✓ 使途をマスタープランにまとめて計画を展開していく。そのレベルで推進する自治体と、単に宿泊税を取って終わってしまう自治体との間で、これから差が出てくるものと思われる。

②中期的な「使途」をマスタープランとして示す

倶知安町 観光地マスタープラン 2020年度 - 2031年度



<5つの要件>

1. 滞在目的となり得るライフスタイル
2. 心地よさと賑わいをもちたす空間デザイン
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保する仕組み
5. 住民のQOLを高める環境

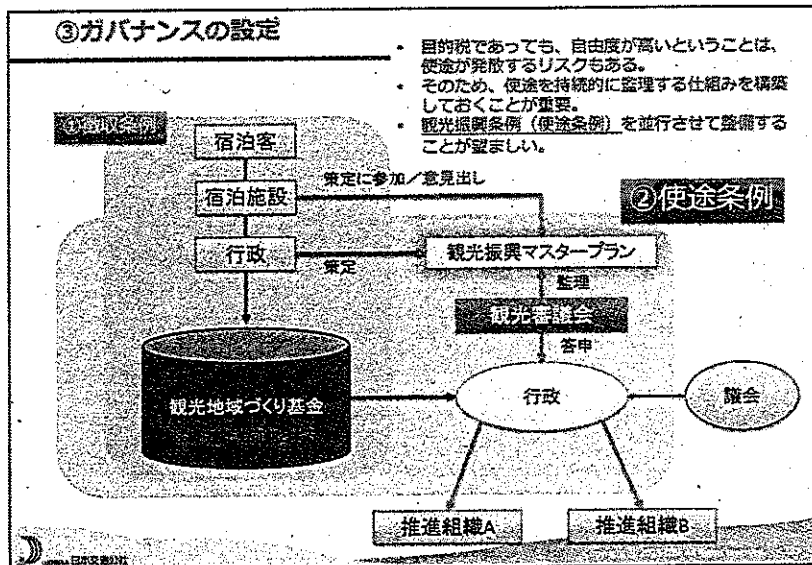
倶知安町では宿泊税導入と並行して、行政、DMO、事業者にて議論し、リゾート要件(経産省, 2018)に基づきマスタープランを策定

ここで挙げられた事業について、宿泊税の投入を行っている。

8-3 勉強会《1月17日》

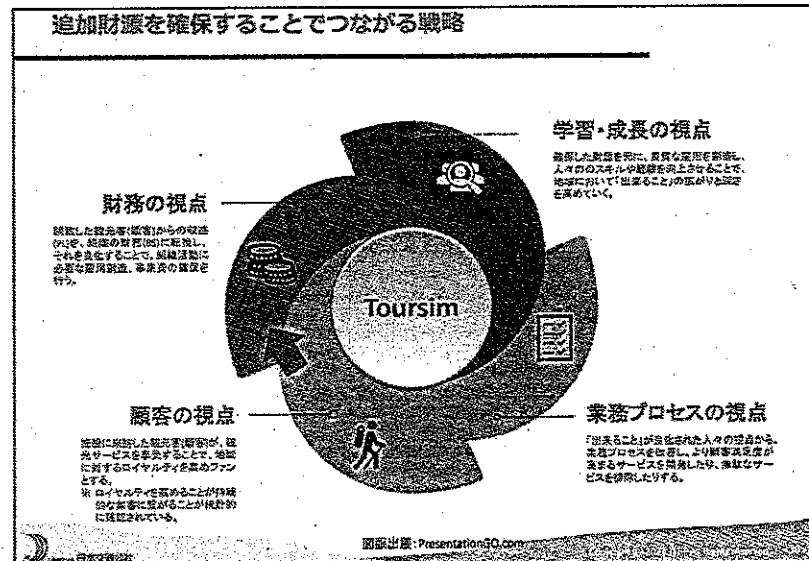
■ガバナンスの設定

- ✓ 税金は基金で管理し、選別・峻別してお金を使っていくことが重要。場合によっては、例えば、一部の税金を毎年5%積み上げし、有事や自然災害が発生した時に、緊急的にお金が支出できるようにするなどの選択も、石垣市として宿泊税を導入する場合は、石垣市の中で決められる。
- ✓ 徴収する宿泊税条例とは別に、石垣市の中で自由に決められるからこそ、どう使うのかを定めた観光条例(使途条例)もあわせて制定していただきたい。
- ✓ 例えば、観光振興計画を作成し、委員会を設置し審議する。さらにその評価は、こうする。最後に計画を進行するための財源は宿泊税とすると条文で定める。それによって石垣市は、法的根拠を持った計画に従って、宿泊税を充てて事業を推進することになる。



■追加財源を確保することでつながる戦略

- ✓ 観光で儲けた分の一部が、その地域で使えるお金に変わる。それは観光振興がうまくいくほどローリングされて戻っていくというような体制を作っていたきたい。
- ✓ これまでは観光客や観光消費の増加に比例して石垣が使えるお金が増えるという財政構造になかった。石垣市は、観光客の増加分に応じてお金を支出しなければならない状況にあるが、宿泊税を入れることができれば、この構造を改善していくことができる。
- ✓ 宿泊税を導入するとなった時に、意味のある使い方にしていく。5年後、10年後も含めて、これがあるからこそ石垣市の観光は強くなるんだと思えるような仕組みを作っていくところに議論を集中していただければと思う。



自主財源確保に係る意見交換

石垣市長表敬

2024年1月16日(火) 16:00-16:45 石垣市市役所 市長室
中山市長、観光文化課、(公財)日本交通公社

自主財源確保について

(公財)日本交通公社 理事・観光研究部長 山田雄一

■財源の種別

- ✓ 自主財源には様々な種別がある。石垣市が課税自主権を行使し、宿泊税を市税として確保するのであれば、沖縄県が県税として導入する前までに動く必要がある。
- ✓ 沖縄県の宿泊税導入の動きがある中では、他の自主財源については、石垣市として宿泊税を導入した後に将来的なオプションとして検討していく進め方もある。
- ✓ 入域税(入島税)について、公共交通機関(航空、鉄道等)を特別徴収義務者とする場合、その企業数は限られてしまう。
- ✓ 宿泊税は国内で既に導入事例があり、技術的な問題はほとんどないとされる。
- ✓ その他、空港施設使用料(費用の範疇)は、受益者負担の関係を明確にする必要があるものである。

■税額、按分

- ✓ 過重な負担とならないかがポイント。観光客側に1,000円ほど支払い意思があっても、徴収する税額としてその金額を設定できるかは別。
- ✓ 県と市との配分について、福岡市と福岡県は75対25の配分(宿泊料金2万円未満の場合)。

■定額と定率、使途

- ✓ 石垣市は、国内では競争力の高いリゾートであり、今後の競争相手は世界のリゾートとなる。
- ✓ 世界のリゾートでは、定率で宿泊税を導入しているところが多い。宿泊税を導入してお客が減ったところはない。むしろ観光に対する費用が増えていく状況にあり、税率を上げていっている。
- ✓ 宿泊税は育てられる税収であり、これまでの行政のファイナンスとは異なる。宿泊単価を上げていくことで、そのメリットを受けられる。

■使途

- ✓ 観光客だけでなく、地域住民の暮らしの向上に宿泊税を充当することも考えられるが、導入初期は観光の競争力向上に資する事業—ごみ問題など対策を講じないと困るところに集中的に充当する(その部分は、今後も常に充当していく必要あり)。
- ✓ 軌道に乗せた上で、想定税収額より上振れした税収分を他のところに充当していくという使い方ができるのが宿泊税である。

■その他

- ✓ 観光客受入による自治体の負担は、日帰りより宿泊のほうがより大きいものと思われる(ごみ問題、住宅建設や道路整備(宿泊施設の増加に伴い働きに来る人が増加)など)。

石垣市観光交流協会宿泊部会対象

2024年1月17日(火) 13:30-15:00 石垣市市役所 大会議室1

石垣市自主財源確保に係る勉強会

プログラム

1.趣旨説明

観光文化課 課長 西銘基恭



- ✓ 昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、一定程度収束。人の移動や観光客も以前のように回復しつつある。回復にあたり、人手不足の深刻化、二次交通の常時不足、クルーズ船の大型化による二次交通でのオーバーツーリズムの発生など観光事業におけるサービスや商品提供の課題が露呈している。これまで以上に行政と観光の現場が連携して体制をつくり、ビジョンを共有することがとても重要。
- ✓ 持続可能な観光地づくりに向けて具体的にどのようなアクションを起こすか。そのために必要な財源とその使い方について、理解を深めていく必要がある。特に宿泊施設は旅の拠点として欠かせない観光資源である。観光資源のブランディングが面的に石垣島の観光魅力を高めていくものと考えている。
- ✓ アフターコロナの時代を迎えて、石垣市では、観光計画や観光危機管理計画を実装化して「持続可能な観光地づくり」を果たす取り組みを加速化していきたい。選ばれ続けるための観光振興を主な目的として活用できる財源確保のスキームや意義について一緒に学ぶことができればと考えている。

石垣市自主財源確保に係る勉強会

令和6年1月17日 13時30分～15時予定

会次第

1. 趣旨説明 観光文化課長 西銘 基恭

2. 講 義 「観光地づくりに関わる財源概論」

公益財団法人日本交通公社

理事・観光研究部長 山田 雄一 様

<プロフィール>

埼玉県生まれ。1993年ゼネコン入社。不動産開発実務およびIT企業のスタートアップを経て、1998年より(財)日本交通公社(現：(公財)日本交通公社)。2009年に米国のセントラルフロリダ大学ホスピタリティ・マネジメント学部に客員研究員。2014年に筑波大学にて博士号(社会工学)を取得。その後、観光産業省のサービス政策部門にて調査企画官を3年拝命。現在は、公社での主席研究員/理事/部長/総長に加え、大学院にて客員教授。観光振興に関わる講演、講義、論文、著書多数。主たる研究テーマは観光地ブランディング。

3. 質疑応答/意見交換

8-4 観光の未来を考える日《2月21日》

石垣市民を対象とした観光キャンパス

観光の未来を考える日

2024年1月16日(火) 10:30-17:15 石垣市民会館 大ホール

プログラム

講演1 ポストコロナの観光潮流

航空アナリスト鳥海高太郎

講演2 ツーリストシップから持続可能な観光を築く

(一社)ツーリストシップ代表理事 田中千恵子

主催者挨拶

石垣市長 中山義隆

講演3 自主財源論

(公財)日本交通公社 理事・観光研究部長 山田雄一

パネルディスカッション

「観光財源と持続力を担保する財源使途
及びガバナンス 主題：観光宿泊税」

講演4 未来につなぐ持続可能な観光

八重山商工高校マーケティングリサーチ部

講演5 観光地方都市における公共交通の未来展望

(一社)沖縄オープンラボラトリ 理事 山崎里仁

Beyond コロナ時代の新たな観光キャンパス 石垣島 八重山

観光の未来を考える日

コロナ禍を契機に「観光が持つ力」や「観光による価値創造」を捉えるキャンパス(学びの場)と位置づけ、「観光の未来を考える日」を開催します。観光に関する多岐にわたるプログラムと沖縄県及び石垣市が抱える観光後の必要性や課題についてのパネルディスカッションで構成します。観光事業者・関係者・地域(住民)が観光による産業や地域を持続的に営むために観光がもたらす力について一緒に考え、学びませんか? 多くのご来場をお待ちしています!

令和6年 2月21日(水)
開場 10時～17時15分終了予定
※関心のある講演プログラム(全席、一部を定員に達した)に対して、入場無料
石垣市民会館大ホール 入場無料

開演

10:30～(60分)	11:25～(30分)	13:30～(60分)	15:50～(20分)	16:15～(60分)
『ポストコロナの観光潮流』 鳥海高太郎	『ツーリストシップ(観光客の船)から持続可能な観光を築く』 (一社)ツーリストシップ代表理事 田中千恵子	『自主財源論』 (公財)日本交通公社 理事・観光研究部長 山田雄一	『未来につなぐ持続可能な観光』 八重山商工高校マーケティングリサーチ部	『観光地方都市における公共交通の未来展望』 (一社)沖縄オープンラボラトリ 理事 山崎里仁

11:30～15:10(90分)
パネルディスカッション
『持続可能な観光を担保する観光財源とその使途及びガバナンス』
モデレーター 山田 雄一

12:05～13:25
昼休み・休憩

※パネリスト
山田 雄一 田中 千恵子 鳥海 高太郎 山崎 里仁 八重山商工高校マーケティングリサーチ部 代表 山崎 里仁
パネリスト 山田 雄一 田中 千恵子 鳥海 高太郎 山崎 里仁 八重山商工高校マーケティングリサーチ部 代表 山崎 里仁

主催：石垣市、一般社団法人八重山ビジネスビューロー
共催：一般社団法人石垣市観光交流協会、石垣島100年・公益財団法人日本交通公社、後援：一般社団法人沖縄観光コンベンションビューロー
お問い合わせ先：石垣市観光文化課 0980-82-1535 八重山商工高校マーケティングリサーチ部 0980-82-1535

Beyondコロナ時代の新たな観光キャンパス 石垣・八重山

石垣市民会館大ホール 2024年2月21日(水) 開場 10時～17時15分終了(予定)

観光の未来を考える日

コロナ禍を越えて「観光が持つ力」や「観光による価値創造」を考えるキャンパス(学びの場)と位置づけ、「観光の未来を考える日」を開催します。観光に関する多様な講演プログラムと、沖縄県及び石垣市が導入を検討する宿泊税の必要性や使い道についてのパネルディスカッションで構成します。観光事業者・来訪者・地域(住民)が観光による恩恵や幸福度を持続的に高めていく観光まちづくりについて一緒に考え、学びましょう。

主催者挨拶 13:25～13:30



日本最南端の自然文化都市である石垣市は、美しい自然や独自の文化を有し、世界中から多くの方々にお越し頂いている観光地です。「観光」は、地域活性化と経済振興をけん引する重要な地域資源であることから本市では平成9年に「石垣市観光立市宣言」を定め、観光を総合産業と位置付けてきました。しかし、未曾有のコロナパンデミックの影響によって、観光産業は、厳しい状況におかれ、コロナ以前からの課題に対しても新たに向き合う必要があります。コロナ禍を越えて、観光のあり方にどのような変化が起きているか?オーバーツーリズムが懸念され、レスポンスブルツーリズムが注目されるなかでの本質的なことは何か?幅広い観光領域について、素晴らしい講師陣およびパネリストのみなさまが登壇します。是非、ひとつでも多くの講演プログラムにご参加頂けると幸いです。

石垣市長 八重山ビジターズビューロー会長 中山 義隆



司会
第43代ミス八重山 南十字星
大高 凛佳

1 限目 10:30～11:30(60分)

ポストコロナの観光潮流

航空・旅行アナリスト 鳥海 高太郎



▶2020年春から3年近く観光業界に大きな影響を与えた新型コロナウイルス。2023年から本格回復してきたなかで、個人旅行化が進んできました。アフターコロナにおいて、コロナ前に戻った観光潮流、コロナ禍で新たに生まれた観光潮流を織り交ぜながら、今の日本国内における旅行トレンドについて考えると共に、円安・物価安で注目を集めている海外からのインバウンド(訪日外国人観光客)受け入れにおける今観光地がすべきことについてお話します。

1978年千葉県生まれ。航空・旅行アナリスト、帝京大学理工学部航空宇宙工学科、共栄大学国際経営学部、川村学園女子大学生活創造学部観光文化学科非常勤講師。航空会社のマーケティング戦略を主研究に、自らも国内外を巡り体験談を中心に雑誌やテレビで情報を発信。4月に「コロナ後のエアライン」(宝島社)を出版した。YouTubeチャンネル「PTA鳥ちゃんねる」を配信中。

石垣島の魅力、観光で期待することは?

Charm of ISHIGAKI

旅行の醍醐味である「非日常」を日本国内で一番体感できる場所。リゾートはもちろん「食」も充実。

2 限目 11:35～12:05(30分)

ツーリストシップ(旅行者の心得)から持続可能な観光を築く

一般社団法人ツーリストシップ代表理事 田中 千恵子



▶ツーリストシップとは、スポーツマンシップの観光客版で、旅先に配慮したり、貢献しながら、交流を楽しむ姿勢や行動を指します。持続可能な観光を築く旅行行動とは、オーバーツーリズムを防ぐ旅行行動とは何か。また、どんな工夫があれば、ツーリストシップ溢れる旅行者に来てもらうことができるのか。私たちは、「ツーリストシップ」を問いかけることで、住民・観光客・事業者、皆が幸せになる旅行のしかたを一緒に考えていきたいと思っています。

1998年千葉生まれ。19年京都大学在学中に一般社団法人CHIE-NO-WA(後のツーリストシップ)創設、代表を務める。卒業後は社会起業家として異例のプロ契約をダイドードリンコ株式会社と締結。現在は、一般社団法人ツーリストシップの運営を行い、ツーリストシップの普及に邁進している。2023年より同志社大学でも講義を持つ。また2023年のInternational Youth DayでDTTT社が選ぶ世界の若者9人のうち日本人で唯一選ばれた。そして観光業最高の功績を称えるX.Awards(同年12月イギリス開催)で、京都発のツーリストシップがアジア初受賞

Charm of ISHIGAKI

石垣市の魅力は、自然と暮らしの共存だと思います。石垣市の暮らしを生かした観光開発に期待しています。

自主財源論

公益財団法人日本交通公社 観光研究部長 山田 雄一



- ・観光地とは魅力的なライフスタイルが詰まったところ
- ・だから世界中の人々が憧れ、訪れたいと思う
- ・そう思われる地域に住まうことは、大きな喜びにつながる
- ・ライフスタイルを実現するには、標準以上に、様々な環境を高度に整備(または保全)していく必要がある
- ・そのためには、他地域以上に、資金と人材を確保し投入することが必要である
- ・一方、通常の地方財政では、観光によって「豊か」になることはできない
- ・観光振興を進めれば、進めるほど、地域住民は、そのしわ寄せを受けることになる
- ・ただ、20年前の制度変更によってこの矛盾を突破する方法がある
- ・それが「法定外税」による宿泊税という制度
- ・住民が住民税を負担するように、来訪者にも一定の負担をしてもらうことで観光振興を地域財政に紐付けることができる
- ・これを地域づくりの財源とし、地域の持続的な発展につなげていくことが重要である

埼玉県生まれ。1993年ゼネコン入社。不動産開発実務およびIT企業のスタートアップを経て、1998年より(財)日本交通公社(現:(公財)日本交通公社)。2009年に米国のセントラルフロリダ大学ホスピタリティ・マネジメント学部にて客員研究員。2014年に筑波大学にて博士号(社会工学)を取得。その後、経済産業省のサービス政策部門にて調査企画官を2年拝命。現在は、公社での主席研究員/理事/部長/館長に加え、大学院にて客員教授。観光振興に関わる講演、講義、論文、著書多数。主たる研究テーマは観光地ブランディング。

石垣島の魅力、観光で期待することは？
Charm of ISHIGAKI

恵まれた自然環境、交通インフラ、観光サービス事業者が集積した競争力の高い地域だと思っています。

観光目的税(宿泊税)導入にあたっての制度骨格(案)

確認事項		沖縄ツーリズム産業団体協議会 案											
1	税導入の目的	世界から選ばれる持続可能な観光地として発展していくことを目的に、安全・安心で質の高い沖縄観光の実現による満足度の向上、県民の観光への理解促進、観光産業の成長・変革、発展に繋がる施策に要する費用に充てるため											
2	税率・課税免除	○定率：宿泊料金1人1泊又は1部屋、1棟につき 3% (5%を望む意見もある) ○課税免除 (1)学校教育法第1条に規定する学校(大学を除く)及びこれに準ずる海外の学校の児童、生徒又は学生で、当該学校が主催する修学旅行に参加しているもの。 (2)前号に規定する学校が主催する修学旅行及び教育活動の引率者											
3	使途と条例	<table><tr><td colspan="2">◎重点使途項目</td></tr><tr><td>(1) 観光客・県民双方にとって安全・安心な満足度の高い受入環境の充実・整備</td><td>利便性・満足度の向上 魅力あるコンテンツ創出 島の向上への取組 観光産業の生産性向上</td></tr><tr><td>(2) 魅力ある付加価値の高い観光地ブランドづくり</td><td>人材確保・育成 マーケティング/ブランディングの高度化 戦略的なプロモーション</td></tr><tr><td>(3) 県民理解の促進と調和による持続可能な観光地づくり</td><td>県民理解の促進 観光関連産業への波及 保全と活用バランス</td></tr><tr><td>(4) 観光危機への対応</td><td>観光危機管理対応強化 基金制度</td></tr></table>	◎重点使途項目		(1) 観光客・県民双方にとって安全・安心な満足度の高い受入環境の充実・整備	利便性・満足度の向上 魅力あるコンテンツ創出 島の向上への取組 観光産業の生産性向上	(2) 魅力ある付加価値の高い観光地ブランドづくり	人材確保・育成 マーケティング/ブランディングの高度化 戦略的なプロモーション	(3) 県民理解の促進と調和による持続可能な観光地づくり	県民理解の促進 観光関連産業への波及 保全と活用バランス	(4) 観光危機への対応	観光危機管理対応強化 基金制度	◎財源の種別と条例について 財源の種別は「観光振興特定財源」とし、条例については「税の使途」を定める ◎基金について 社会環境の変化が早く影響を受けやすい観光産業の性質から迅速かつ柔軟な財源運用を可能とする「新たな基金」の設置
◎重点使途項目													
(1) 観光客・県民双方にとって安全・安心な満足度の高い受入環境の充実・整備	利便性・満足度の向上 魅力あるコンテンツ創出 島の向上への取組 観光産業の生産性向上												
(2) 魅力ある付加価値の高い観光地ブランドづくり	人材確保・育成 マーケティング/ブランディングの高度化 戦略的なプロモーション												
(3) 県民理解の促進と調和による持続可能な観光地づくり	県民理解の促進 観光関連産業への波及 保全と活用バランス												
(4) 観光危機への対応	観光危機管理対応強化 基金制度												
4	報償金とシステム導入負担	徴収した金額の2.5% ※導入から5年間は3.0% 加えて、システム導入費用の支援(補助)											
5	意思決定プロセス(会議体の設置)	沖縄観光振興戦略検討会議(仮称)を設置 観光客と直接接する観光事業者等から意見を吸い上げ、透明性のある、より効果的な事業展開を図るという観点から、沖縄県、OCVB、観光業界などを構成員とした「沖縄観光振興戦略検討会議(仮称)」を設置、事業検討、予算策定、決断、効果検証等を行う。なお事務局はOCVBとする。											
6	OCVBの役割	広域連携DMOには地域の主体・司令塔となり観光振興を遂行する役割があることから、県とOCVB(広域連携DMO)の役割を整理したうえで観光業界及び地域観光協会等幅広い利害関係者と連携し、観光振興を行うための財源を広域連携DMOであるOCVBへ充当する											

観光財源と持続力を担保する財源使途及び ガバナンス

主題: 観光宿泊税 ファシリテーター: 公益財団法人日本交通公社 観光研究部長 山田 雄一

▶ 観光は我が国の成長戦略の柱であり、人口減少・少子高齢化に直面するなかで、観光によって生み出される国内外からの交流人口に伴う旅行消費は地域経済に大きな効果をもたらします。一方で、観光消費による経済波及効果は、観光消費額の1.3倍から1.7倍の間に収まるといわれます。また、利益が地域に落ちていないという統計結果があります。そういった限界や課題を踏まえて、観光による恩恵を持続可能なものにするためには、来訪者、地域住民、観光事業者が最大限に幸福になる仕組みづくりが重要であり、そして観光財源の確保について考えることも不可欠です。この観光財源について現在、石垣市は、沖縄県や県内の導入自治体と宿泊税の導入を検討しています。令和6年度に具体的な取り組みに着手する計画です。パネルディスカッションでは、「持続可能な観光を担保する観光財源とその使途及びガバナンス」と題して、論点や課題について意見交換します。

パネリスト



山田 桂一郎
JTIC.SWISS代表
八重山ビクターズビューロー
有識者

2005年に観光カリスマ（内閣府・国土交通省（観光庁）・農林水産省認定）：「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として、これまでの欧州を中心とした環境保全（環境保護・保全活動プログラム、環境教育、環境アセスメント等。海外在住者として初めて日本の環境省に登録された環境カウンセラー）と世界各地における滞在プログラム・ツアーの実施と観光・集客交流の事業化、マーケティング、ブランディングの経験を活かし、観光・地域振興 まちおこし・自立型地域経営、人材育成、中心市街地・商店街活性化、一次産業支援等に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出された。民間企業やNPO法人の他にも、多くの省庁や地方自治体の委員、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザーを務め、大学や高等教育機関でも教鞭をとっている。



下地 芳郎
沖縄観光エバンジェンビューロー
会長

1981年に明治大学法学部を卒業後、沖縄県庁に入庁。初代香港事務所長として、香港を中心にアジア全般の観光客誘致などを担う。観光振興課長、観光企画課長、観光政策統括監などを歴任。2001年のアメリカ同時多発テロ、2011年の東日本大震災等の影響で落ち込んだ沖縄観光の立て直しを担う。2013年3月に退職し、琉球大学観光産業科学部教授に就任。学部長、研究科長を歴任。2019年6月に沖縄観光コンベンションビューロー会長に就任。

<その他役職>
公益社団法人日本観光振興協会理事
沖縄ツーリズム産業団体協議会会長
沖縄県観光協会等協議会会長
一般社団法人沖縄観光DX推進機構理事長
琉球大学国際地域創造学部客員教授 等



赤城 陽子
石垣島
ビーチホテルサンシャイン
代表取締役副社長・総支配人

石垣市商工会観光部会長、JTB協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会理事、NTA協定旅館ホテル連盟本部営業推進委員、東武トップツアーズ協定旅館ホテル連盟沖縄支部理事 ほか

<特徴ある取り組み> 光害対策の取組み（SDGsの一環として）
平成20年ホテルのナイトコンテンツとして星空ツーリズムを展開させることに伴いホテル敷地内の街灯に光害対策を施す
平成28年石垣島国立天文台10周年祝賀会にて星空観光及び光害対策の取組について受賞
平成30年TBS「世界ふしぎ発見！」で当ホテルの「夜空を照らさない照明デザイン」が紹介された
令和4年修学旅行の事前学習として光害講話を開始
令和6年照明設計デザイナー面出薫様を招聘しセミナー及びワークショップを開催予定（星空協力会主催） 等々



高橋 秀明
石垣シーサイドホテル
取締役総支配人

石垣市観光交流協会副会長、近畿日本ツーリスト八重山会会長
出身地：埼玉県草加市
※石垣在住30年目！
※人と接することが好き！
※チームで動くことが好き！



仲里 一也
イルマーレウナリザキ
代表取締役

竹富町観光協会青年部部長を5期9年目
1982年西表島生まれ、西表島育ち。
島の中学校を卒業後、親元を離れ千葉の高校へ進学。高校卒業後、埼玉の大学へ20歳で熊本のダイビングショップへ就職。22歳で島へ戻り、現在のホテルイルマーレウナリザキのオーナーである父とホテル構想を考え、2007年24歳の時に代表取締役としてホテルをOPEN。同時に1999年から父が営む「ヴィラウナリザキ」の両方を経営。



綿貫 周平
八重山ビクターズビューロー

1989年生まれ、群馬県昭和村（人口7,000人）出身。大学卒業後は、群馬県の地域活性化に取り組むため群馬県庁に入庁。地域づくりの合意形成に関心をもち、ワークショップやファシリテーションについて学ぶ。石垣島出身の妻と結婚し、2019年に移住。2022年から日本旅行沖縄に在籍、八重山ビクターズビューローへ出向。現在は事務局長として観光を通じた地域づくりに日々試行錯誤中。

未来につなぐ持続可能な観光 ～地域の観光産業と連携した石垣島を巡る旅を通して～

沖縄県立八重山商工高等学校 マーケティングリサーチ部

▶ 新石垣空港開設後に入域観光客数が急増した一方、観光関連産業で慢性的な人手不足となり、コロナがさらに追い打ちをかけた。その課題解決のため、地元の観光バス会社と連携し石垣を訪れる修学旅行生向けにバスガイドに挑戦した成果を報告。また、オフシーズンである冬には、ミンサー機織り体験やユニークメニューの視点でビーチで三線演奏など地元向けのツアーも実施し、年間を通じて石垣の魅力ある場所を活用した「質の高い観光」のコンテンツづくりを発信した研究発表の内容をご紹介します！



令和5年度第26回沖縄県高等学校生徒商業研究発表大会 最優秀賞（出場校7校→九州大会派遣へ★大会4連覇
令和5年度第22回九州地区高等学校生徒商業研究発表大会 優良賞6位/出場校9→開催県（沖縄県）最上位校として全国大会出場
令和5年度第31回全国高等学校生徒商業研究発表大会優良賞（最優秀1、優秀3、優良5）/参加校20校
全国大会における、八重山商工高校の受賞は、沖縄県として10年ぶり2回目の入賞である（初受賞は第21回大会において浦添商業高校が優秀賞を受賞）

石垣島の魅力、観光で期待することは？

Charm of ISHIGAKI

昔からの伝統文化・芸能・地域行事等が残り、継承されているところが石垣の魅力。観光地向けになりすぎず、地元住民も楽しめる場所がほしい。石垣島にいたい、好きだという気持ちを地元の人を持ち続けることが大事。それがないと、地元の人が離れていってしまう（戻ってこないのではないかと心配）

観光地方都市における公共交通の未来展望

一般社団法人沖縄オープンラボラトリ 理事 山崎 里仁



▶ 地域の価値はエリアの移動可能度で大きく変わります。前世紀の日本は「鉄道資本主義」が都市の価値をつくってきました。これからは交通DX・自動運転・AIが新しい国土の価値を創出する時代。少子高齢化による急速な人口減の中で全ての地域を育む事は、残念ながら現実的ではありません。未来価値を生み出せる地域に集中する必要があります。石垣は大きく飛躍し得るエリア。新時代のスマートな移動を提供するエリアを創出するための戦略をお話します。

1967年神奈川県鎌倉市生まれ。大学の専攻はニュートリノ観測。高校の先輩である小柴昌俊先生に憧れて研究室に所属するも研究者として大成せずドロップアウト。1993年に日本で最初のコンシューマにインターネット接続サービス(ISP)を提供する事業を創業。Microsoftより資金を得てWindows95の拡販に伴い事業を拡大。後に事業売却し渡米。ITコンサルティングファームを創業し東証に上場。2000年G8サミットの名義市開催に伴い沖縄県の行政プロジェクトに関わるようになる。2012年からうるま市に建立されたデータセンターのITデザイン総指揮を担当。2013年5月に一般社団法人沖縄オープンラボラトリを設立。八重山観光・交通コンソーシアム有識者

石垣島の魅力、観光で期待することは？

Charm of ISHIGAKI

石垣は島なのに山もある！ 高台からの絶景がある！
最南端の天文台もある！ 海と山と空！全ての魅力を満喫したい！

喫茶イレブン(中ホール2階)
11時～17時(予定)
八重山そば、カレー

飲食情報 & 特別イベント

来場者をつくる観光アート
10時～16時(予定)



DOMINGO COFFEE10(中庭)
10時～16時頃(予定)
コーヒー、カフェオレ、焼き菓子

旅先クイズ
10時～16時(予定)
ツーリストシップブース

キーボード演奏
伊良皆 和子

★講演内容や宿泊税の導入についての感想、ご質問等は、事務局までご連絡ください。

事務局:石垣市企画部観光文化課 電話0980-82-1535 メール:kankou@city.ishigaki.okinawa.jp

- 沖縄県では、2018年度に「観光目的税の導入施行に関する検討委員会」を設置。沖縄県において導入することが適当な税目とその時期等について検討。同検討委員会及び検討分科会での議論(各3回)を経て、提言。
- 同提言を受けて、沖縄県では制度設計案の検討が続けられたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一時中断。観光需要が回復傾向にある現在、法定外目的税(宿泊税)に関する議論が沖縄県内にて再燃。

沖縄県の法定外目的税(宿泊税)の参考検討案(2023年11月時点)

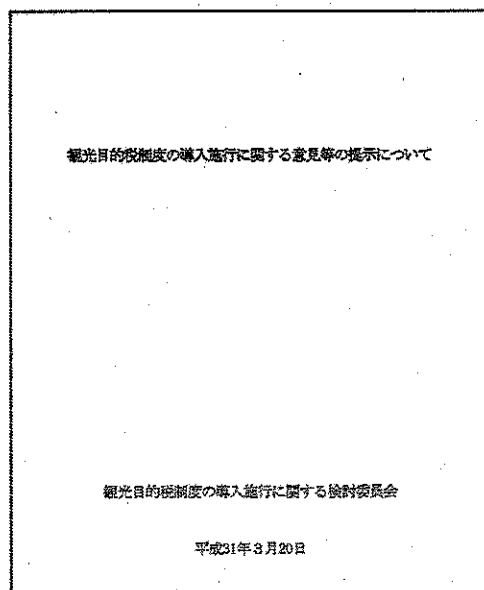
内容	内容
税導入の目的	沖縄が世界に誇れる観光リゾート地として発展していくことを目的として、沖縄の自然環境や地域環境の保全、伝統文化の未来への継承、安全・安心で快適な良好環境の質の向上など、県民生活と調和した持続可能な観光を実現するための施策に要する費用に充てるため、宿泊税を課する
想定される 税収使途	(1) 観光旅客の受け入れ体制の充実強化 (2) 観光地における環境及び良好な景観の保全 (3) 観光の振興に通じる文化芸術の継承及び発展並びにスポーツの振興 (4) 地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行を促進
課税客体	(1) 旅館業法第3条第1項の許可を受けて行うホテル等における宿泊 (2) 住宅宿泊事業法第2条第3項に規定する住宅宿泊事業に係る施設における宿泊
納税義務者	沖縄県の宿泊施設における宿泊者
徴収方法	旅館業法第3条第1項の許可を受けた者、住宅宿泊事業法第2条第4項に規定する住宅宿泊事業者、その他宿泊税の徴収において便宜を有する者による徴収
課税標準	宿泊日数
課税免除	(1) 学校教育法第1条に規定する学校(大学を除く)及びこれに準じる海外の学校の児童、生徒又は学生で当該学校が主催する修学旅行及び当該学校の教育活動に参加しているもの (2) 前号に規定する当該学校が主催する修学旅行及び教育活動の引率者 (3) 宿泊料金が1人1泊5千円未満の宿泊
税率	定額(案) 宿泊料金1人1泊につき 2万円未満: 200円、2万円以上:500円
税収規模	県全体 約42億円(上記の定額案の試算)
報償金	徴収した税額の2.5% ※導入から5年間は3.0%。 別途、システム導入コストの支援の検討

出典：沖縄県資料より作成

沖縄県の法定外目的税(宿泊税)の制度設計(案)

- なお、「観光目的税の導入施行に関する検討委員会」(2018年度)による提言では、制度詳細等のほかに、今後の沖縄県における法定外目的税制度の導入施行に係る検討に当たって留意することが必要な事項が付記された。

提言における留意事項



- 1 新たな法定外目的税のうち沖縄県が導入施行するものとして適当な税目とその時期について
- 2 前項の税目に係る法定外目的税の制度詳細と使途事業について
- 3 前各項について、留意事項や提言すべき事項があればその事項等について

内容
(1) 観光目的税の活用効果は毎年度検証し、制度の見直しも適宜検討すること
(2) 特別徴収義務者の事務負担や徴収コストへ十分配慮すること
(3) 制度の導入に当たっては、関係者に丁寧に説明するとともに、できるだけ早期に導入すること
(4) 導入目的や使途について、観光客が理解しやすい説明を考えること
(5) 徴収事務の簡素化を図ること
(6) 県民の満足度向上につながるようにすること
(7) 市町村における観光ニーズも踏まえ、効果的に観光目的税を活用すること
(8) 宿泊税の導入を検討している自治体と早期に調整を図ること
(9) 観光目的税導入に対する観光客及び県民の考え方のフォローアップを行うこと
(10) 観光目的税の適正管理のために「基金」を設置すること
(11) 前年度の効果検証と翌年度の活用事業について、公正・中立に審議する体制を整備すること

出典：観光目的税制度の導入施行に関する意見等の提示について(観光目的税制度の導入施行に関する検討委員会、平成31年3月20日)

- 観光目的税(宿泊税)制度の導入について(意見書)
- 沖縄ツーリズム産業団体協議会は、2023年10月31日に協議会を開催し、観光業界としての方向性について議論。沖縄県が導入を計画している宿泊税の検討に当たっての下記の留意点をとりまとめ、沖縄県に意見書を提出。

内容	内容
1. 税導入の目的	世界から選ばれる持続可能な観光地として発展していくことを目的に、安全・安心で質の高い沖縄観光の実現による観光客の満足度向上、県民の観光への理解促進、観光産業の成長・変革、発展に繋がる施策に要する費用に充てるため
2. 税率	○定率で検討 税負担の公平性の観点を踏まえるほか、人泊数及び観光消費額を重視する観光政策の観点から ○宿泊料金1人1泊又は1部屋、1棟につき3% 島嶼県である沖縄の特殊性、他の都道府県に比べ観光が県経済に占める割合の大きさを鑑み、5%を求める意見もある。
3. 課税免除対象	(1)学校教育法第1条に規定する学校(大学を除く)及びこれに準ずる海外の学校の児童生徒 又は学生で、当該学校が主催する修学旅行に参加しているもの (2)前項に規定する当該学校が主催する修学旅行及び教育活動の引率者 なお、税負担の公平性の観点から、宿泊料金による課税免除は設けないこと
4. 財源の種別及び使途	○財源の種別 真の沖縄観光振興に使途が特定される「観光振興特定財源」とする ○「新たな基金」の設置 社会環境の変化の影響を受けやすい観光産業の性質から、迅速かつ柔軟な財源運用を可能とする基金の設置 ○使途 ①県民・観光客双方にとって安全・安心な満足度の高い受入環境の整備・充実 ②県民理解の促進と調和による持続可能な観光地づくり ③魅力ある付加価値の高い観光地ブランドづくり ④観光危機への対応
5. システム導入への対応	報奨金とは別に、システム導入に係る費用について負担すること
6. 税導入後の運用体制	(1)沖縄観光振興戦略検討会議(仮称)の設置 観光客と直に接する観光事業者等から意見を吸い上げ、宿泊税を財源とする事業をより効果的に実施することを目的とした「沖縄観光振興戦略検討会議(仮称)」を設置し、事務局はOCVBが担うこと 同会議では事業の検討、予算案の策定および決議、事業の効果検証等を行うこと (2)広域連携DMO(OCVB)の役割と財源の充当 県とOCVB(広域連携DMO)の役割を整理したうえで、観光業界及び地域観光協会等幅広い利害関係者と連携し、観光振興を行うための財源を広域連携DMOであるOCVBへ充当すること
7. 税導入に向けて協議継続の場の設置	沖縄にとってよりよい宿泊税制度となるよう沖縄ツーリズム産業団体協議会等との協議の場の設置を求める

- 沖縄県内の市町村で法定外目的税導入に向けた動きのある市町村は、5市町村(石垣市を含む)。
- 北谷町、宮古島市では、検討委員会による最終方針がまとめられている。

北谷町 北谷町宿泊税制度の導入施行に関する検討委員会

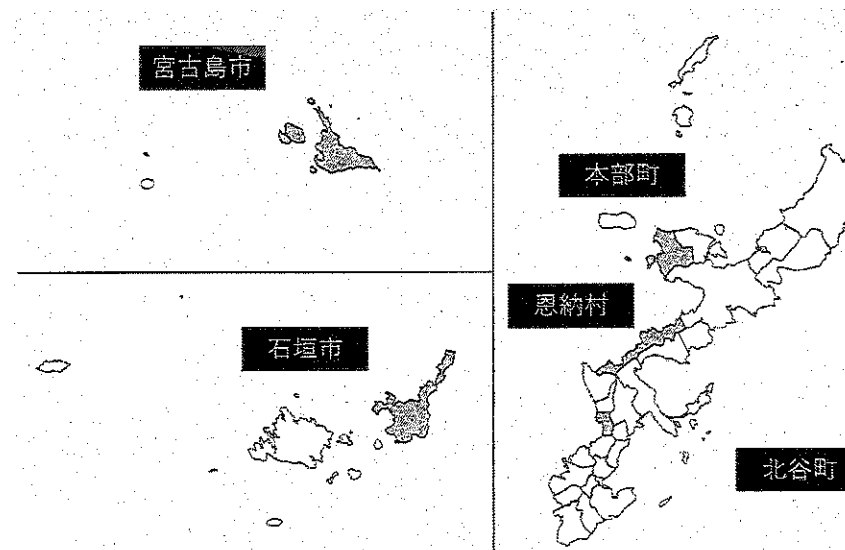
目的	軍用地返還を契機とした埋立事業等により本町西海岸エリアの発展につながっている。観光産業がリーディング産業である本町において、オーバーツーリズム対策や魅力の更なる向上、SDGs対応などに取り組むことにより、持続可能な観光地として、本町の観光競争力の維持・向上を図る。
使途	受益者負担の考え方のもと、既存の観光振興基本計画を鑑みた使途を検討
課税客体	旅館業法第3条第1項の許可を受けて行うホテル等における宿泊(下宿営業は除く) 住宅宿泊事業法第4条第1項の届出をして行う住宅宿泊事業に係る住宅などにおける宿泊
納税義務者	北谷町内のホテル等における宿泊者
徴収方法	ホテル等の事業の経営者、その他宿泊税の徴収において便宜を有する者による特別徴収
課税標準	宿泊日数/1人当たり
徴収事務 交付金	宿泊税の賦課徴収の円滑な運営や管理等の観点から、特別徴収義務者が担う徴収事務に対して、納税額2.5%の交付金を支払う。ただし、導入 から最初の5年は3%とする。
管理・運用 方法	関係団体を中心に構成される会議体の設置
課税免除	学校教育法第1条に規定する学校(大学を除く)及びこれに準ずる海外の学校の児童、生徒又は学生で、当該学校が主催する修学旅行に参加 する者 前号に規定する学校が主催する修学旅行の引率者
定額・定率	定額制の場合: 2万円以下100円(200円)、2万円以上250円(500円) 定率制の場合: 1.0% (2.0%) ※カッコ内の数字は県税と合算した額(または%) ※ [県税25:町税75] の割合について沖縄県と調整事項

出典：北谷町資料より作成

宮古島市 宮古島市法定外目的税庁内検討委員会

目的	環境の保全と持続可能な観光による観光地づくりの実現
背景	観光客の増加に伴い、宮古島市の自然環境や住民生活に及ぼす負荷が増大している。エコアイランド宮古島として持続可能な観光地域づくりを目指す必要がある。宮古島の自然環境の受益者である観光客にも応分の負担を求めるため目的税を導入する。
課税客体	宿泊施設等への宿泊
徴収方法	ホテル等の事業者、および民泊等による特別徴収
課税標準	ホテル等における宿泊日数
課税免除	宿泊料金5千円未満、修学旅行
定額・定率	定額
税率	1泊あたりの宿泊料金 2万円未満200円 2万円以上500円
配分	50% (あるいは25%) を県に納付
宿泊事業者 への報償金	導入から5年間は税収の3.0%、 6年目以降は2.5%を予定

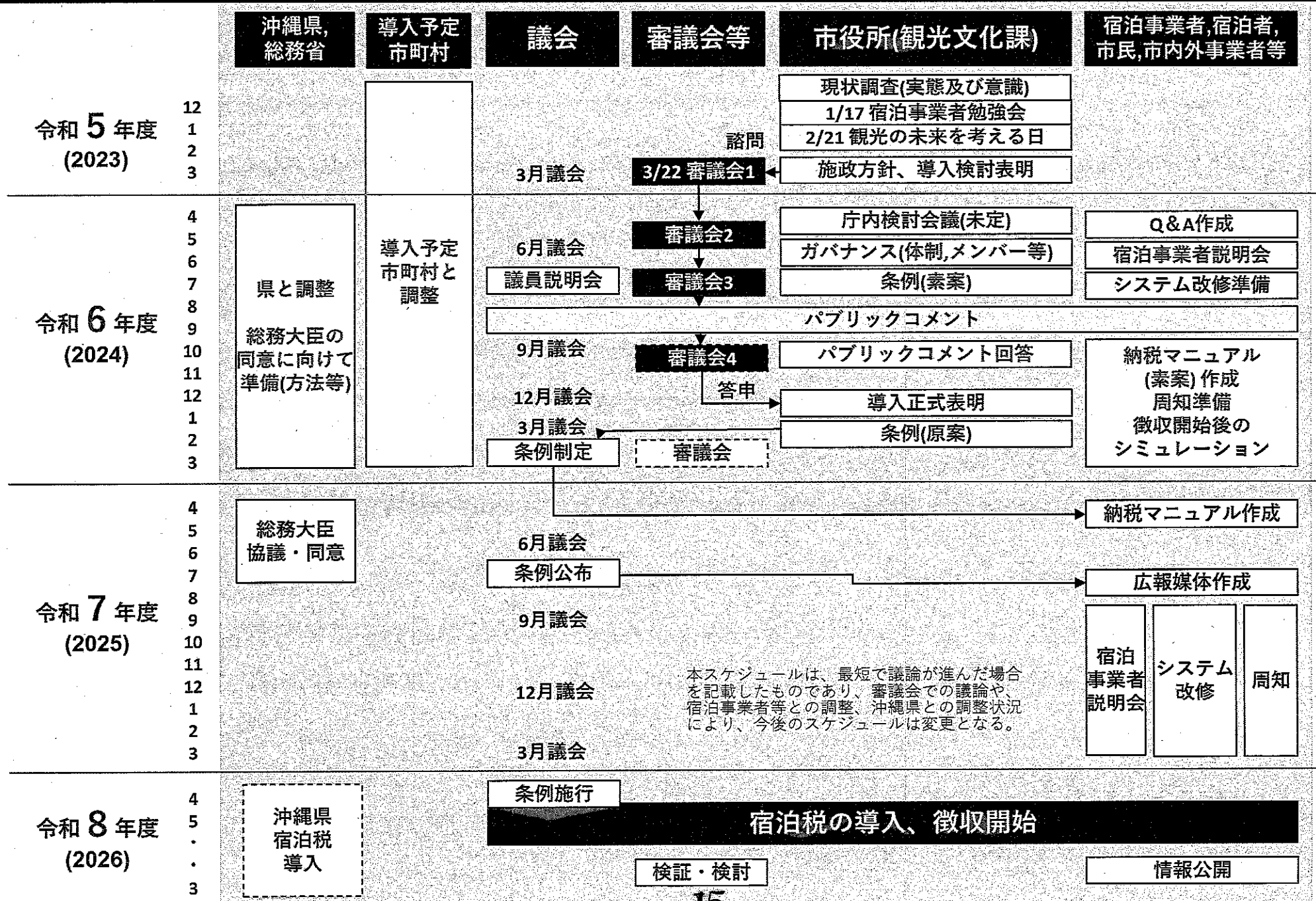
出典：宮古島市「宿泊税」導入に関する宿泊事業者説明会および意見交換会の開催について
<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kankosyoukou/kankou/oshirase/syukuhakuzei.html>



出典：白地図専門店(<https://n.freemap.jp/tp/Okinawa01>)にて作成

検討から導入まで主なスケジュール(案)

資料 5



宿泊税? オーバーツーリズム? SDGs?

みんなで考えよう! 石垣島の観光まちづくり



石垣市の観光に関する市民アンケート調査

Citizen Survey on Tourism of Ishigaki City

WEBアンケート ご協力をお願い

Request for Cooperation in Web Survey

石垣市は、市内に住むすべての方に対し観光に関する課題や沖縄県・本市が導入を検討する宿泊税について、その必要性や使い道のアンケートを実施しております。

Ishigaki City is conducting a survey on tourism-related issues and the necessity and usage of a lodging tax, which is being studied for introduction by the Okinawa Prefecture and our city. This survey targets all residents living in the city.

石垣市に住むすべての方へ

WEBアンケートご回答受付期間

2023年12月21日(木)

2024年1月31日(水)

ご回答にあたって

- ✓ スマートフォンまたはパソコンなどから下記のアンケート回答先にアクセスしてください。
- ✓ お一人につき回答は一回までとなります。
- ✓ 10代以上の本市にお住まいの方すべてが対象です。住民登録の有無は問いません。通勤で竹富町・那覇などから来島し働く方、リゾートバイトやワーケーションの方も対象です。
- ✓ ご記入いただいた内容は統計的に処理いたしますので、調査の趣旨以外の用途に用いられたりすることはございません。
- ✓ 回答内容に応じて次に表示される設問が変わります。
- ✓ 不明な点があれば石垣市観光文化課(下記詳細)へお問い合わせください。

To answer the survey,

- ✓ Please access the link below using a smartphone or computer.
- ✓ You can only answer once per person.
- ✓ The survey targets all residents in our city aged 10 and above, regardless of whether they have completed resident registration. This includes people who commute from places like Taketomi Town and Naha city, as well as those doing resort work or workations.
- ✓ The information provided will be processed statistically and will not be used for purposes other than this survey.
- ✓ Based on your answers, the next question will change.
- ✓ If you have any questions, please contact the Tourism Culture Division of Ishigaki City (details are shown below).



日本語



<https://questant.jp/q/ISHIGAKI2023-j>

English



<https://questant.jp/q/ISHIGAKI2023-e>



問い合わせ: 石垣市観光文化課 〒907-8501 沖縄県石垣市字真栄里672番地

電話番号 0980-82-1535 メール kankou@city.Ishigaki.okinawa.jp

委託事業者 (公財) 日本交通公社 観光研究部

市民を対象とした アンケート調査結果

項目	内容
目的	石垣市の観光に対する意識を把握する
対象	・10代以上の石垣市に住む全ての方(住民登録の有無は問わない)。 ・通勤で竹富町・那覇などから来島し働く方、リゾートバイトやワーケーションの方も対象。
実施方法	市広報やSNS及びメールにて調査を告知、依頼。QRもしくはURLからWEBアンケート調査画面にアクセスし、利用者が各自回答。
回答期間	2023年12月21日(木)～1月31日(水)
設問数	37問(基本属性、宿泊施設の規模、施設事業所の経営状況、SDGsに関する取組、石垣市の観光に対する意識、宿泊税、人材確保・育成、労働環境、観光業界への従事意向等)
回収数	860票(日本語857票,英語3票)

市民アンケート SDGs?

みんなで考えよう！石垣島の観光まちづくり

石垣市の観光に関する市民アンケート 調査
Citizen Survey on Tourism of Ishigaki City

**WEBアンケート
ご協力をお願い**

Request for Cooperation in Web Survey

石垣市は、市内に住むすべての市民を対象に、観光に関する意識や、観光の現状や課題について、アンケートを実施しています。

Ishigaki City is conducting a survey on tourism-related issues and the necessity and status of a tourism tax which is being studied for introduction by the Okinawa Prefecture and our city. This survey targets all residents living in the city.

石垣市に住むすべての方へ
WEBアンケートにご回答をお願いします
2023年12月21日(木)～
2024年1月31日(水)

ご協力にあたって

- ・本アンケートは、石垣市観光局のアンケートとして実施されます。
- ・アンケートの結果は、匿名で集計されます。
- ・アンケートの結果は、石垣市観光局のホームページに掲載されます。
- ・アンケートの結果は、石垣市観光局のホームページに掲載されます。
- ・アンケートの結果は、石垣市観光局のホームページに掲載されます。

To answer the survey:

- ・ Please answer the Web Survey using a smartphone or personal computer.
- ・ The survey is anonymous and the results will be used for reference only.
- ・ The survey is anonymous and the results will be used for reference only.
- ・ The survey is anonymous and the results will be used for reference only.

日本語 QRコード

English QRコード

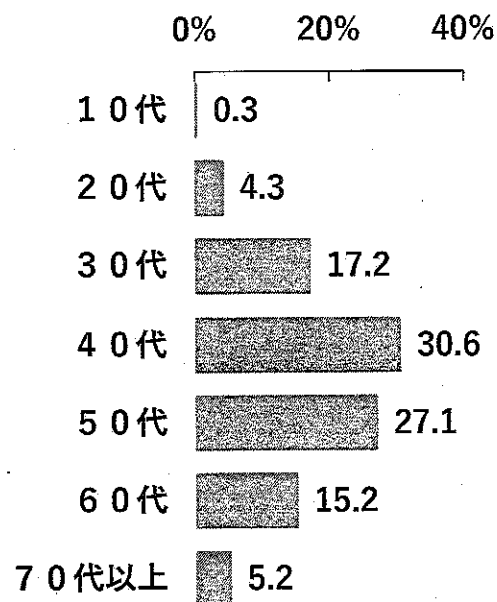
お問い合わせ: 石垣市観光局 電話 090-452-4528 石垣市観光局観光課

観光課 電話 090-452-4528 石垣市観光局観光課

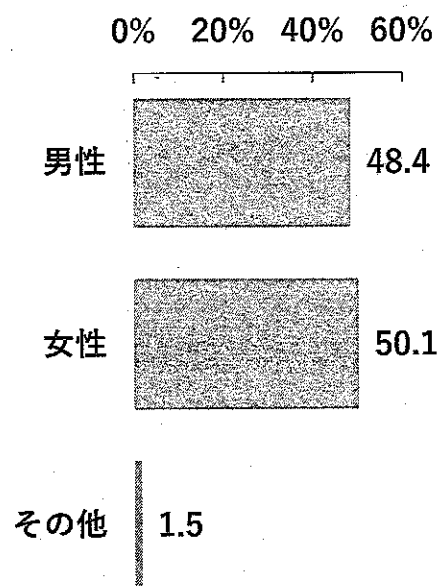
市民アンケート調査

回答者の属性

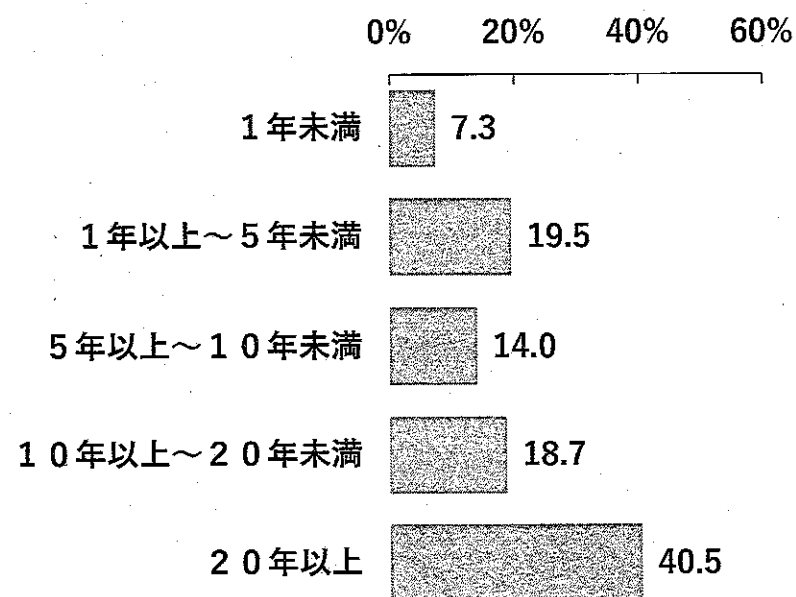
年代 (n=860)



性別 (n=860)



居住年数 (n=860)



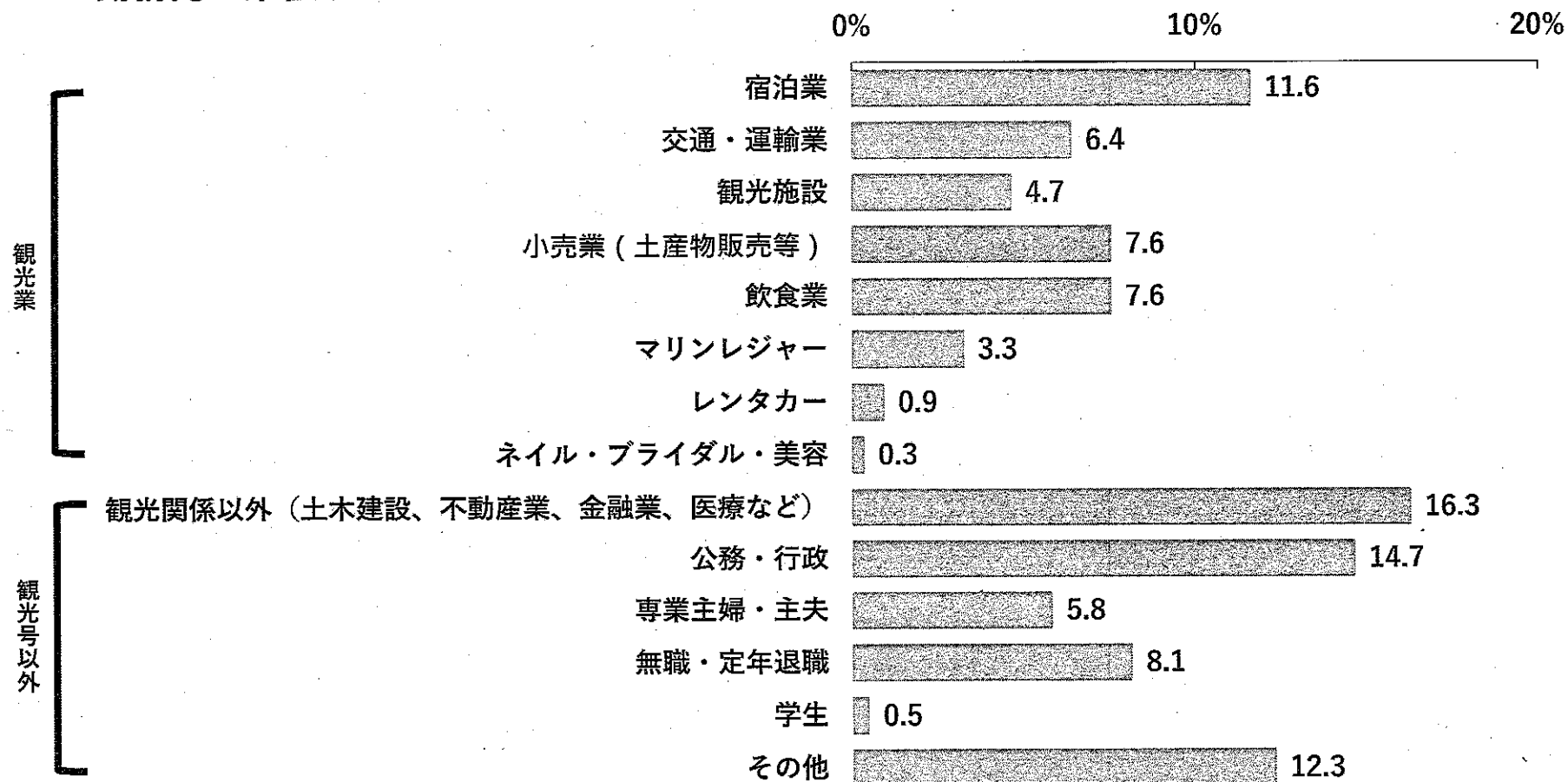
Q1 あなたの年齢をお答えください。[SA]

Q2 あなたの性別をお答えください。[SA]

Q3 石垣市での居住年数をお答えください。[SA]

市民アンケート調査

勤務先の業種 (n=860)

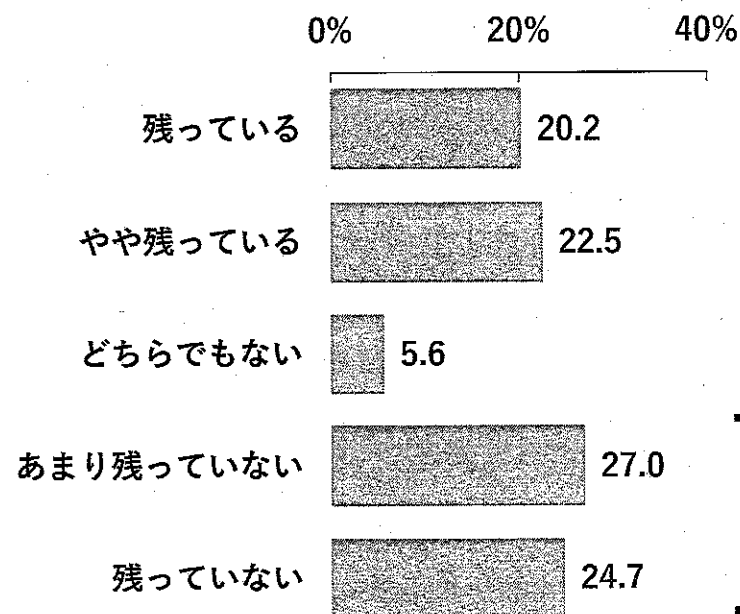


Q4 あなたの勤務先の業種をお答えください。[SA]

市民アンケート調査

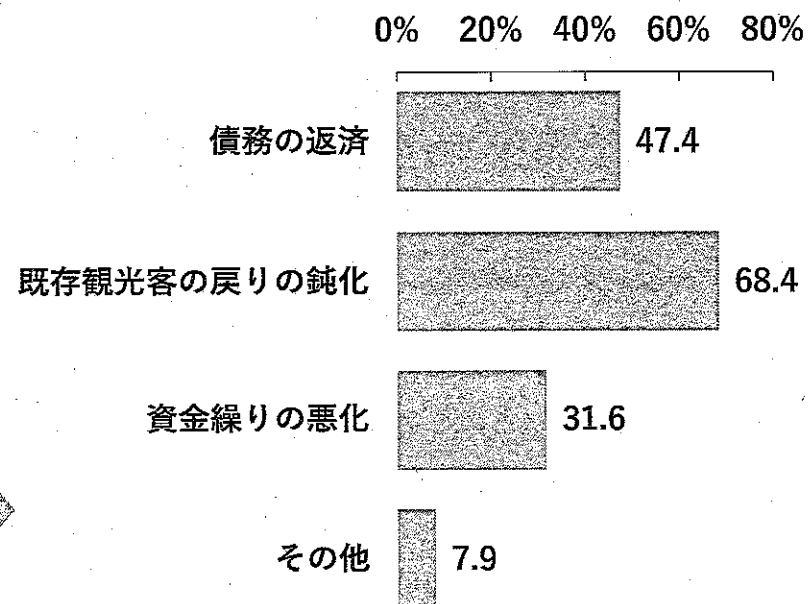
施設・事業所の経営状況について

現在のコロナの影響 (n=89)



[観光業の経営者に対して]
Q12 貴施設・貴事業所において、現在コロナの影響はどのくらい残っていると感じますか。[SA]

コロナの影響の要因 (n=38)

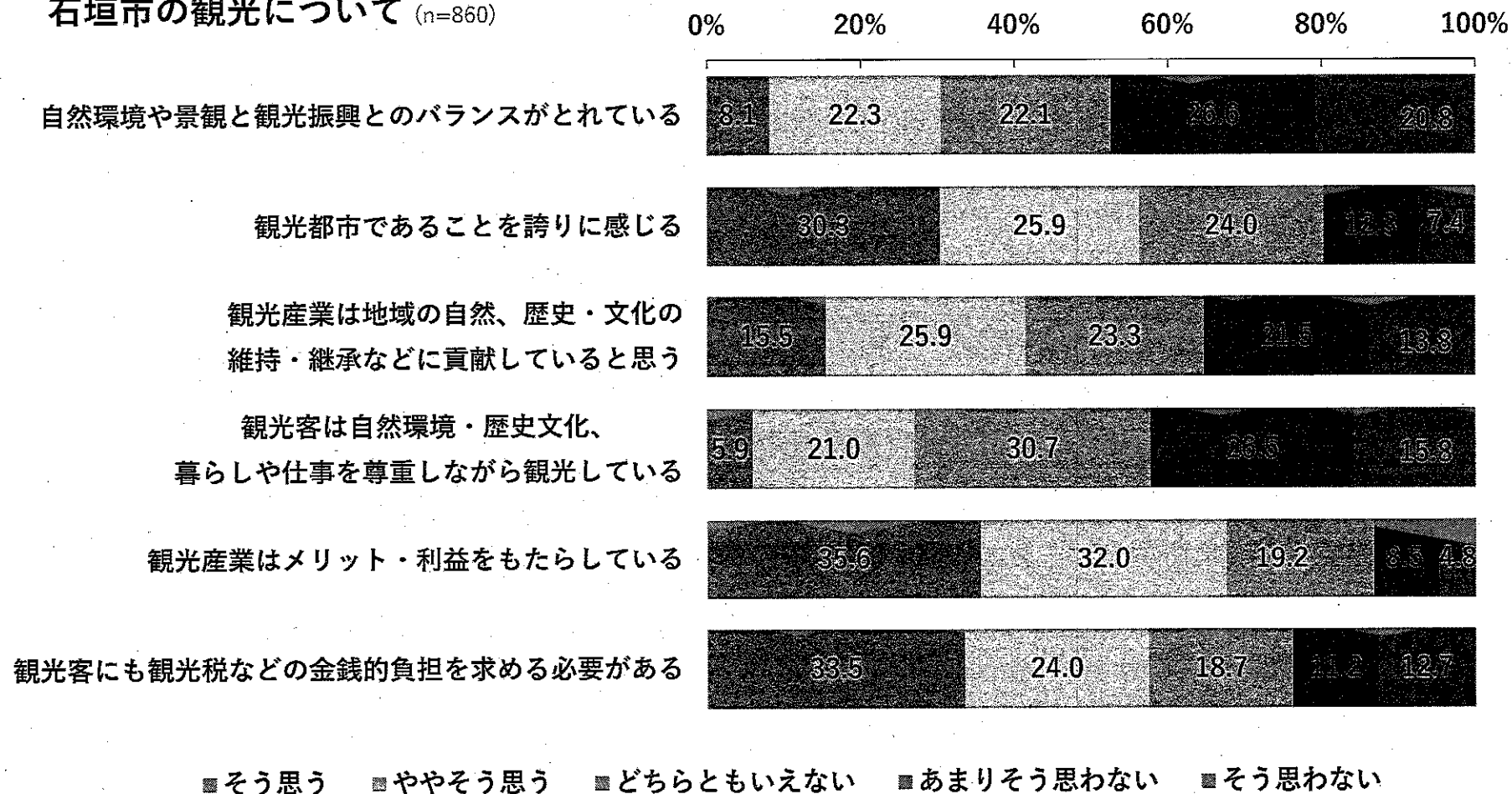


[Q12で前問で現在コロナの影響が「残っている」、「やや残っている」と答えた方に対して]
Q13 その要因を教えてください。[MA]

市民アンケート調査

石垣市の観光振興について

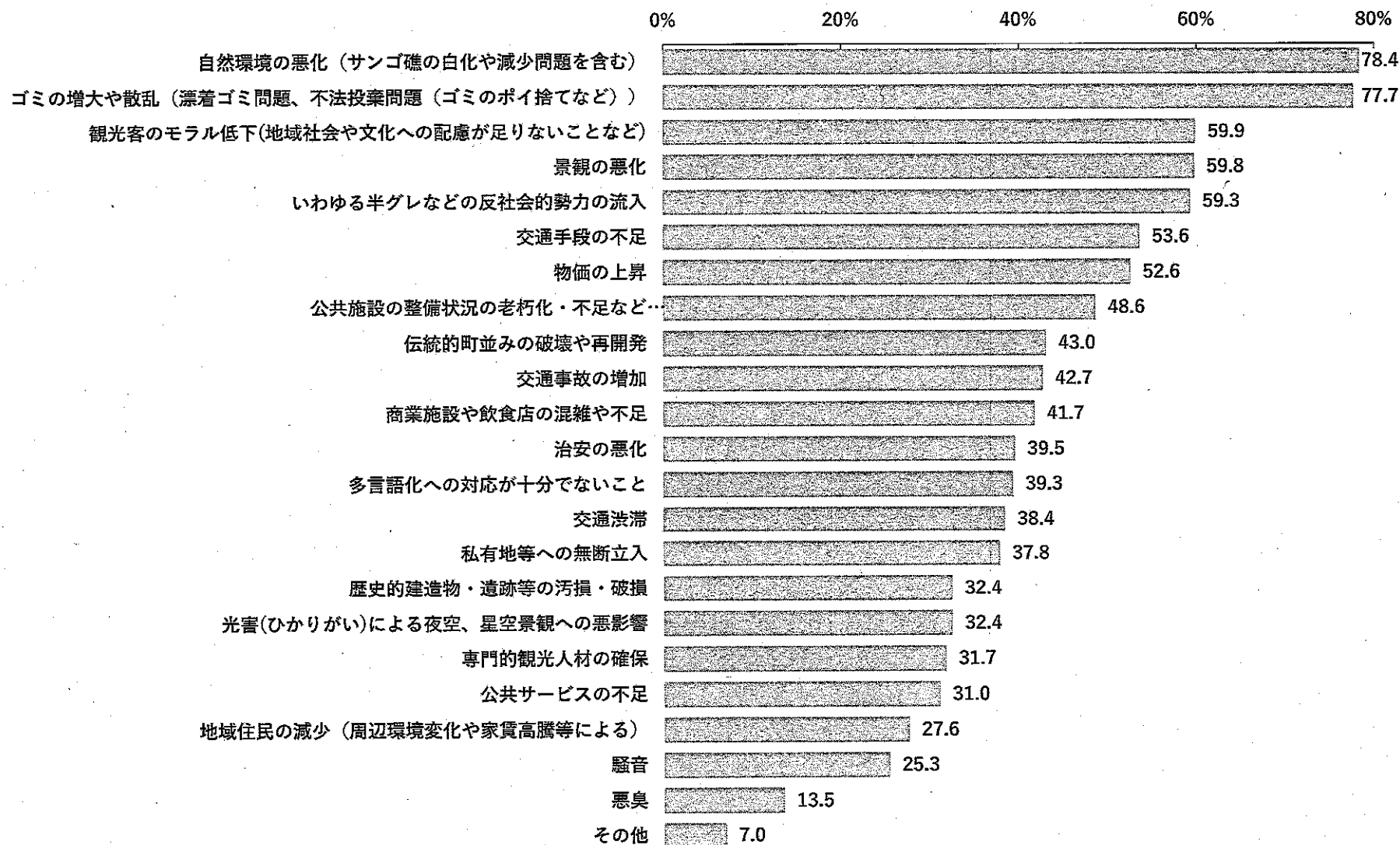
石垣市の観光について (n=860)



Q21 石垣市の観光の上記の項目についてどのように感じていますか。[各SA]

市民アンケート調査

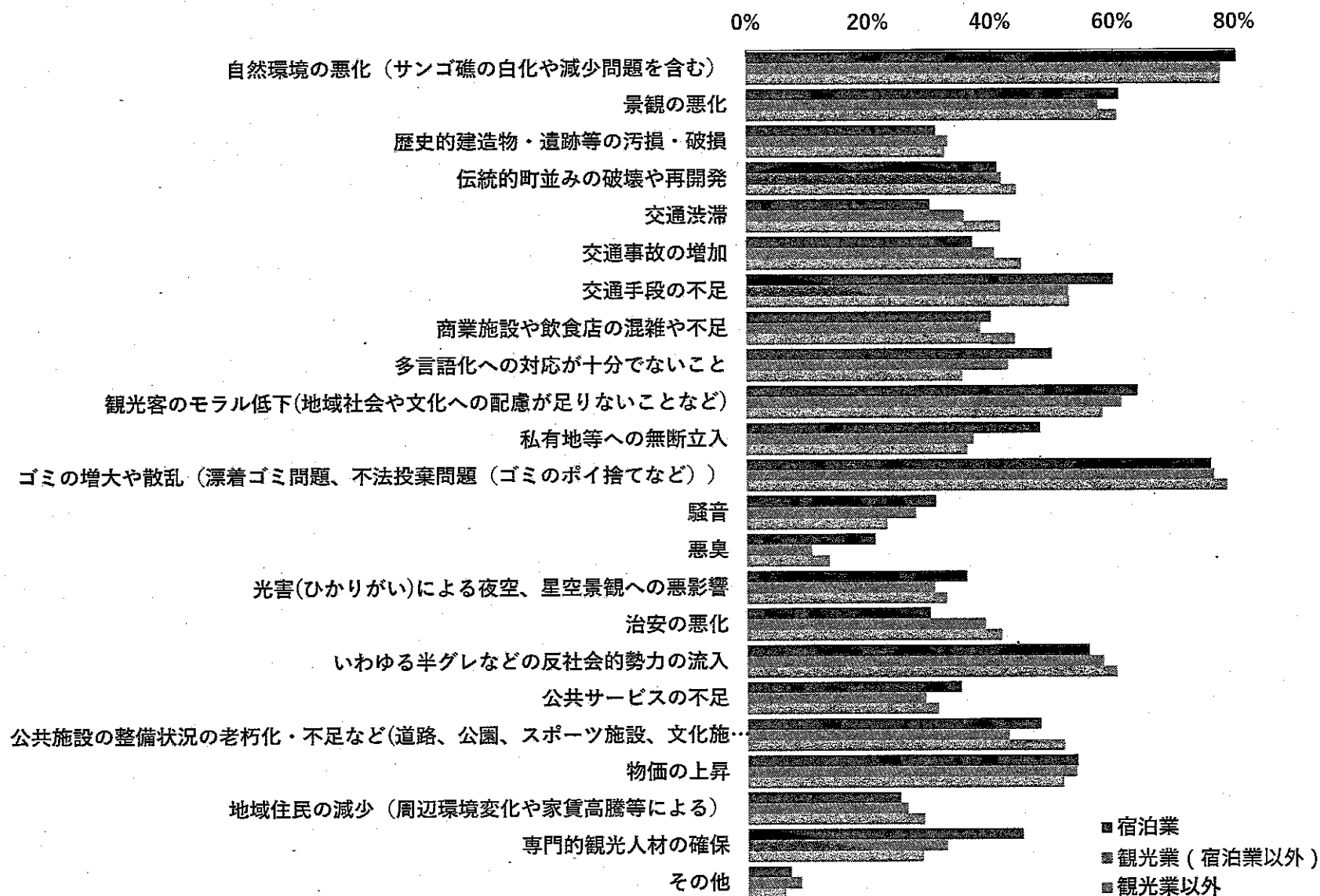
石垣市が観光地として直面している、今後直面しそうな問題や懸念材料について (n=860)



Q22 石垣市が観光地として直面している、あるいは今後直面しそうな問題や懸念材料について教えてください。 [MA]

市民アンケート調査

石垣市が観光地として直面している、今後直面しそうな問題や懸念材料について



Q22 石垣市が観光地として直面している、あるいは今後直面しそうな問題や懸念材料について教えてください。[MA]

市民アンケート調査

問題や懸念材料を払拭する、または解決する方法として効果があると思われること 343件

■主な意見の例（一部）

①具体的な解決方法

〔自然環境〕

- ・ 珊瑚礁に影響のある日焼け止めの使用及び販売禁止
- ・ 石垣島離島ターミナル内の水質調査
- ・ 侵略的外来植物(ギンネムなど)の駆除
- ・ 動植物採取の規制の拡大
- ・ ビーチへの車乗入れ防止柵、禁止条例、取締り
- ・ 自然利用のルール明確化
- ・ 海中やビーチのクリーニング
- ・ ビーチクリーンした観光客への割引券などの発行
- ・ 自然との共生をテーマにした観光施設
- ・ 外灯カバーの義務化
- ・ 夜間の光量をおさえる光条例の制定
(星目当ての来島を増やしたいのであれば)
- ・ エコツーリズム全体構想の策定に関連して
ガイド・事業所の登録や評価制度
- ・ 地元に立脚したエコツーリズムのアクティビティの
開発
- ・ 自然が破壊されていない場所の早急な国立公園化

〔歴史・文化〕

- ・ 島の文化歴史を伝承する授業プログラム

〔ゴミポイ捨て及び処理〕

- ・ ゴミの捨て方やポイ捨てしない教育
(観光客だけでなく住民に対しても)
- ・ 観光名所にゴミ箱の設置
- ・ ゴミ処理能力の向上
- ・ ゴミの分別の簡素化
- ・ 資源ゴミのリサイクル。

〔下水道・悪臭〕

- ・ 海への生活污水垂れ流し防止
- ・ 赤土流出防止対策

〔公共施設・公共空間〕

- ・ 公共施設の建て替え更新、設備維持、計画的な
保守点検

〔景観〕

- ・ 電線の地中化、街並みの整備
- ・ 海岸への視界確保

Q23 前問でお答えになった問題や懸念材料を払拭する、または解決する方法として効果があると思われることを教えてください。 [FA]

市民アンケート調査

①具体的な解決方法（続き）

〔交通〕

- ・ 公共のバスの本数を増やす
- ・ バス運転手の積極採用
- ・ 労働者確保の為に公的宿舎
- ・ 新しい島内インフラ整備(LUUPなど)
- ・ 自動運転バス、ライドシェアの導入
- ・ 電気自動車、バイクの普及

〔歩道・道路、標識等〕

- ・ 道路・歩道の整備・拡張
- ・ 自転車用道路などの整備
- ・ 信号機の設置
- ・ 車線(白線)の引き直し
- ・ 道路標識の定期的補修
- ・ 雑草の定期的除去、清掃
- ・ 初めての方、外国人も理解できるようアナウンス

〔駐車場〕

- ・ 駐車場整備（特に平久保崎灯台）

〔クルーズ船〕

- ・ クルーズ船の誘客と2次交通のバランス
- ・ 受入れ時期の設定、入港制限等

〔観光人材の確保、育成〕

- ・ 地元優先の雇用、モチベーションの上がる賃金
- ・ 大学専門学校などの設置による若い人材の流入
- ・ 人材派遣会社の誘致・設立
- ・ リゾートバイト生・受入れ企業への教育
- ・ 外国人の積極的な採用
- ・ 奨学金制度を充実させ、島に戻る制度
- ・ 八重山の文化に高度に理解のあるツアーガイド、地域住民育成のための講座の充実
- ・ 地域の労働力としての都市部のシニア層の移住促進
- ・ 人材確保のための住居の拡充を強化

〔商い、店舗〕

- ・ 飲食土産物店の営業時間などの情報発信
- ・ 営業時間の見直し
- ・ 観光客と市民も楽しめるマルシェなどの開催
- ・ 屋台やキッチンカーを活用
- ・ ナイトマーケットなどへの取組
- ・ 雨天時の観光を考慮した施設の企画や市民と観光客双方にメリットがある施設の建設

〔観光案内・情報発信、多言語対応〕

- ・ 多言語による案内所の開設(ユーグレナモール近辺)
- ・ SNS等で情報発信や人材募集を行う
- ・ Youtubeで問題提起番組作る
- ・ 多言語化した看板、案内板等の設置

〔AI等、IT等〕

- ・ AI、IT、デジタルシステムの導入

Q23 前問でお答えになった問題や懸念材料を払拭する、または解決する方法として効果があると思われることを教えてください。[FA]

市民アンケート調査

①具体的な解決方法（続き）

〔土地利用、開発〕

- ・ 市街地と自然区域の明確な線引き
- ・ 開発する地域と保存する地域をきちんとゾーニングし、自然・景観保存についての厳しい条例を制定
- ・ 開発ルール of 明確化
- ・ 開発を続け、ホテルを建てたところで、働く人材がいない。十分なもてなしは期待できない。
- ・ 観光利用ゾーニング

〔観光客向けの施設〕

- ・ ゴルフ場のように大きい観光施設はメリット・デメリットを丁寧に説明する
- ・ 建築ラッシュや過剰な開発を低減させる条例などのルール作りとその厳守。
- ・ ゴルフ場の建設をしない
- ・ 宿泊施設数の制限
 - * 宿泊施設などがどんどん建っていくため、長時間労働など負担がかかりまた人が辞めていくといった負の連鎖が発生
 - * そもそも人手がなく、高い時給を出せない地域のお店に人手が回らず消えていき、住民の生活を潤す存在がなくなってしまうため
 - * 昔は遊んでいた場所がどんどんなくなっている
 - * 沿岸はホテルで埋め尽くされ、星も見えなくなるほどの光が増えている
- ・ 内地企業によるリゾート開発ではなく、島内企業による民宿に力を入れてほしい
- ・ 新たな大型店舗には、資源ゴミの回収を義務づける。

〔治安〕

- ・ 警察官や警備員によるパトロールの強化
- ・ 警察署・交番の増設、警察官の大量増員
- ・ 違反行為（違法駐車や私有地立ち入り、ゴミのポイ捨てなど）への罰則や取り締まりの厳格化

〔ルール、マナー、モラル〕

- ・ 入島前の説明（道路標識・交通ルール・日本のモラル・ごみの処理など）と同意取得、違反時の罰則明示
- ・ 観光客及び住人（特に他県からの移住市民や短期アルバイト）への周知徹底
- ・ 各レンタカーなどでのマナーに関するガイダンスの配布
- ・ 立ち入り禁止区域の設定（平久保エコロード）

〔事業の許可制〕

- ・ 各アクティビティ関係の協会によるルール作り徹底
- ・ 観光ガイド、業者の認定制度

〔地域外資本〕

- ・ 地元企業、島外企業等で賃貸の二重価格設定

Q23 前問でお答えになった問題や懸念材料を払拭する、または解決する方法として効果があると思われることを教えてください。 [FA]

市民アンケート調査

①具体的な解決方法（続き）

〔生活施設〕

- ・ 地元民の食料等購入施設への観光客の立ち入り禁止

〔市民生活〕

- ✓ 市民割
- ✓ 離島割引カード(食品等・ガソリンなどの価格低下)
- ・ 住居など観光施設利用に対する地元民割引を増やす。
- ・ 地元民の食料等購入施設への観光客の立ち入り禁止

〔移住者、住民票〕

- ・ 住民票を移動している人から優先的に賃貸を貸すなどの住民優先
- ・ 若者向けの宅地分譲、宅地拡大
- ・ 一定期間の居住または就業する者は、住民登録及び住民税の納付の徹底
- ・ 移住者の制限、移住者のモラル
- ・ 若者がuターンし易い環境作り

〔市民との議論、共有〕

- ・ 市民が口にする事ができる状況を醸成
- ・ 話し合いの場を多く作りオープンにする
- ・ 市民を中心として課題を考える機会を定期的に持つ(メンバーには、移住者や一時的滞在者など、多様な居住形態の人を含む)。
- ・ 定期的な住民へのヒアリング

〔財源、税・協力金〕

- ・ 観光客への入島税や観光税の導入
 - * 島や海の環境保全
 - * 観光資源の保護
 - * 地域的美観や文化遺産の保全
 - * 道路の街路樹整備(剪定・清掃等)、公共施設・トイレ等整備・清掃等の人件費やメンテナンス費
 - * 観光地整備や観光人材の確保
 - * 街中のゴミ箱設置、高性能なゴミ処理施設の建設
 - * ゴミ対策 水対策
 - * 治安維持
 - * 観光に資するサービス提供
- ・ 宿泊税+入島税の徴収
- ・ 航空券に乗っける観光税、宿泊税の徴収
- ・ 一律徴収ではなくお盆や法事などで帰省する地元由来の方には免除
- ・ 環境保全税
- ・ 入島税や施設使用料
- ・ 観光客相手の商売に売観光税の導入
- ・ 観光開発税(ゾートホテル、民泊、マンション)の検討
- ・ 観光目的税導入とガバナンス
- ・ 高額な観光税の導入は観光客離れに直結する

Q23 前問でお答えになった問題や懸念材料を払拭する、または解決する方法として効果があると思われることを教えてください。 [FA]

市民アンケート調査

②観光の方向性

〔観光政策、観光計画・戦略〕

- ・ 5年計画とか10年とか長い目を持って計画すべき
- ・ 市のあるべき姿(長期的ロードマップ)を全ての方が容易にアクセス出来る場所へ、リデザインしてオープン化すべき

〔観光の量と質〕

- ・ 「量より質」の戦略を実施すること。
- ・ 観光資源も、観光客も、量より質。

〔観光需要・供給のコントロール〕

- ・ 住民、自然環境を考慮した観光人口の制限
- ・ 適切な観光客数にコントロール
- ・ 入島制限、流入抑制、上限を決めて制限
- ・ フライト数、レンタカー数、ホテル数、客船停泊回数、地域行事参加の制限

〔客層、ターゲット、ニーズ〕

- ・ 方向性の明確化、観光客のニーズの把握
- ・ 富裕層⇄富裕層重視を止める
- ・ 気持ちにゆとりのある観光客
- ・ 日本人(国内)からの観光客を中心に据える
- ・ 石垣島に来る外国人観光客は、お金を使わない、リピート客にもなりにくい。

〔単価向上、消費機会の向上〕

- ・ 数を減らして一人当たりの単価を増やす仕組み
- ・ 県外観光客への航空料金や宿泊料の値上げ

〔ブランド〕

- ・ 今ある価値を高め、高単価な観光モデルを作り、それが地元還元される仕組みづくり
- ・ 新しい石垣ブランドの創設、差別化

〔観光の方向性〕

- ・ 島の資産を消費するのではなく、尊重してもらえる方向へと教育型の観光事業を強化する
- ・ 既存の観光施設や観光業者の質を高めて顧客満足度を上げる。そのためには観光業者に投資をして人材育成や教育を行い、自然の保護を周知させる
- ・ ハワイの観光が取り組み始めた住民の満足度を大切にしたい観光ヘシフトしていくことは効果があると思う
- ・ 観光客優先の経済発展では市民は定着しないと思う。市民向けのサービス福祉をもっと充実してほしい。
- ・ 観光客あつての市民ではなく市民あつての観光地である事を希望。

〔体制〕

- ・ 全体をプロデュースする人、もしくは組織が必要。
- ・ 島全体が足並みをそろえて対策をする

Q23 前問でお答えになった問題や懸念材料を払拭する、または解決する方法として効果があると思われることを教えてください。 [FA]

市民アンケート調査

③島の方向性

〔島の方向性〕

- ・市は島全体がどこに向かおうとしているのか熟考しなおし、周知すべき。
- ・島全体の雰囲気を上質なものにし、島民の経済活動、教育、生活程度の底上げに繋げる。
- ・事業拡大、税収アップなど利益や儲け話ばかりに興味を示さず、石垣島の自然、環境を本気で修復・維持させる事に注力する。
- ・人口5万人。飽和状態だと思う。ゆったりと暮らせる島に戻ってほしい気持ちもある。
- ・石垣市にとって、いちばん大切な物、価値はなんなのか。そこと観光を結ぶことが、魅力ある観光、将来にわたり持続できる観光をつくれるのでは。

〔経済の多様化〕

- ・観光以外の収入源をつくる

〔産業構造の転換〕

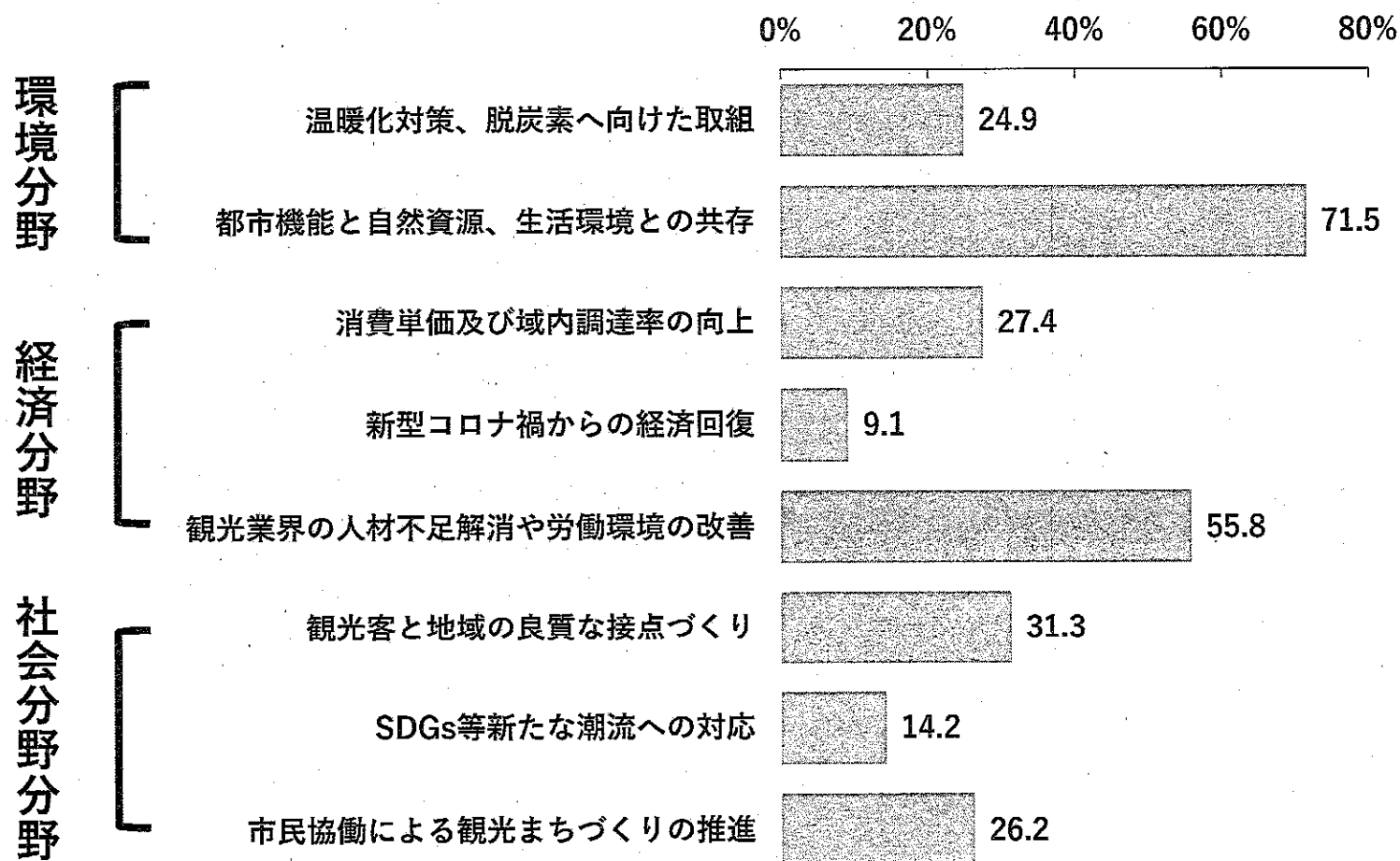
- ・島内にお金が回るしくみの作成
- ・地域産業・地域住民に利する産業構造にする

〔優先順位〕

- ・自然や動物たちを最優先にする考え方。
- ・経済優先にしない。
- ・市民の生活環境を整えてから、その次が観光
- ・市民を最優先した長期的なビジョンの元での発展。より多くの住民がより持続的に豊かな暮らしをするために必要な施策を優先すること。

市民アンケート調査

『第2次石垣市観光基本計画』で掲げる8つの基本方針うち重要と思うもの (n=860)



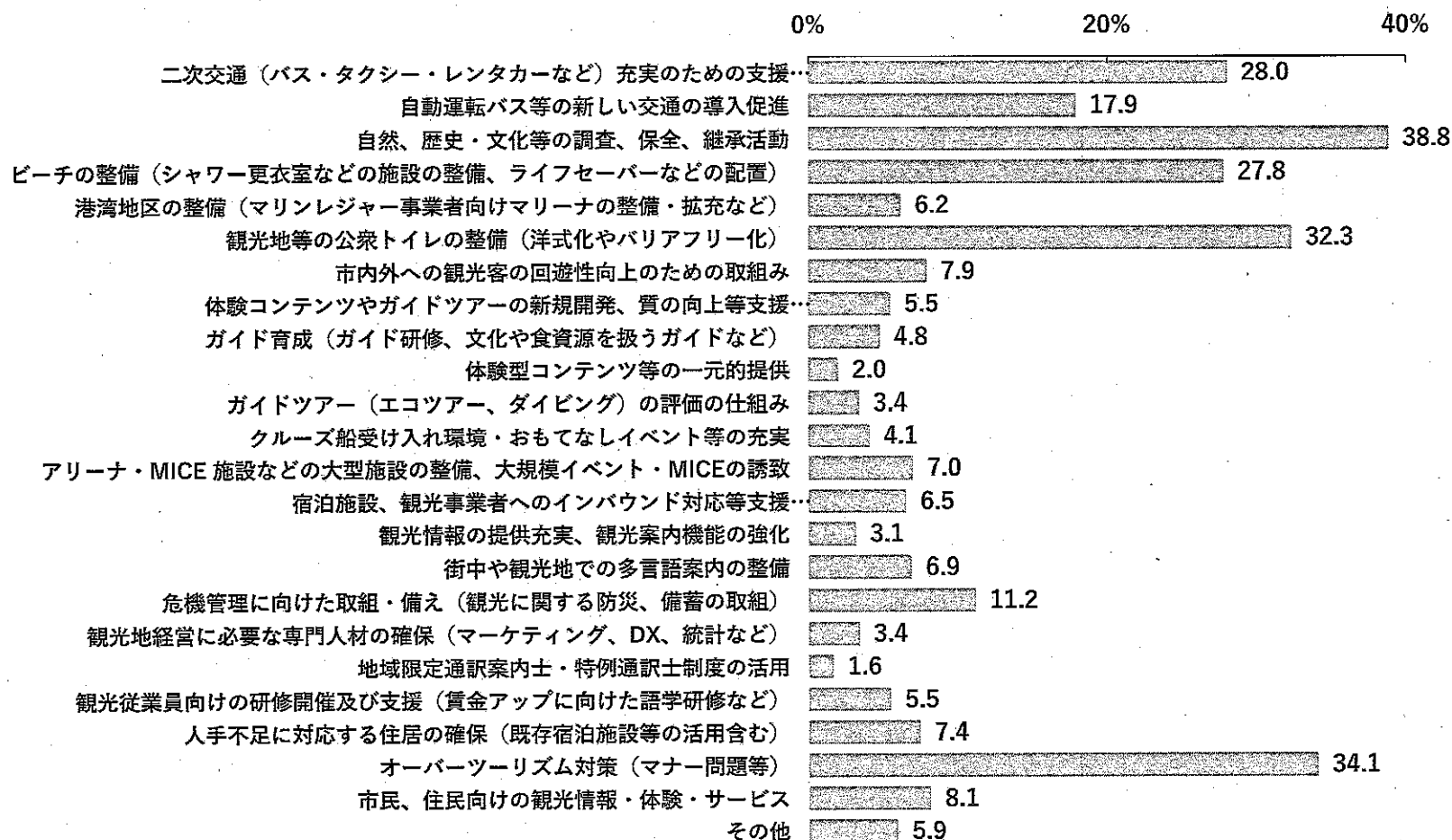
Q24『第2次石垣市観光基本計画』（2022～2031）（※）で掲げる基本方針のうち、重要と思うものを3つまでお答えください。[MA, 3つまで]
 （※）石垣市の観光の目指すべき姿や将来像、基本方針や取組を定めたもの。温暖化対策、脱炭素へ向けた取組。

市民アンケート調査

より良い石垣市の観光のための取組と財源について

現在、沖縄県及び石垣市は、宿泊税（※）の導入を検討しております。宿泊税を原資とした財源は、石垣市の観光振興に充てられる予定です。
（※）課税対象地域にある宿泊施設に宿泊された方に対して、宿泊料金に応じて課税される税

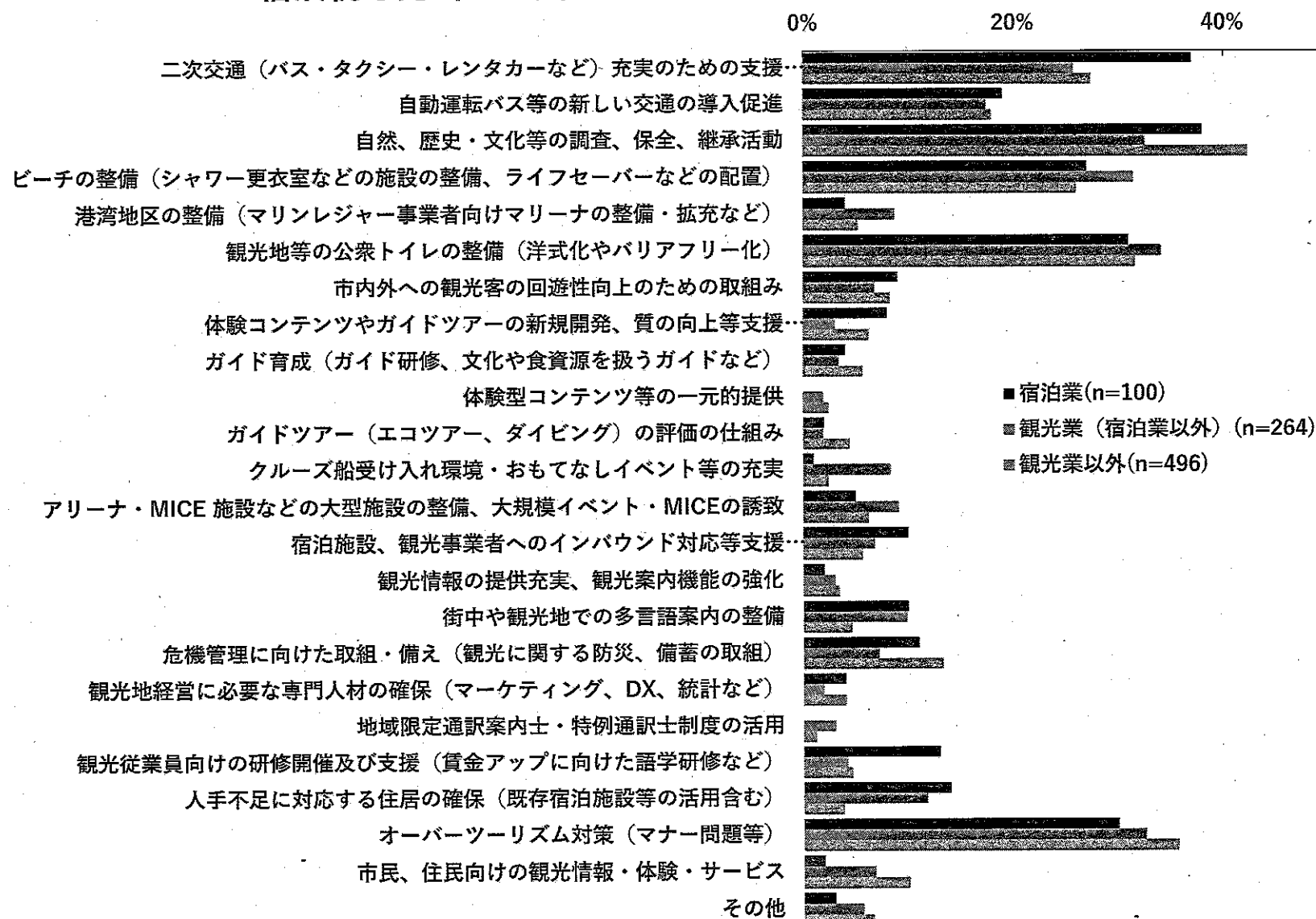
宿泊税を充当して実施していきべきと思うもの (n=860)



Q25 以下の取組のうち、宿泊税を充当して実施していきべきと思うものを3つまでお答えください。[MA, 3つまで]

市民アンケート調査

宿泊税を充当して実施していくべきと思うもの



Q25 以下の取組のうち、宿泊税を充当して実施していくべきと思うものを3つまでお答えください。[MA, 3つまで]

市民アンケート調査

宿泊税を充当して実施する事業の具体的なイメージ 343件

■主な意見の例（一部）

①使途事業

〔自然環境の保全〕

- ・ 自然環境の保全、維持管理
- ・ 自然環境を維持する為の自然環境維持事業の活動費
- ・ 自然環境を保護する為のゴミ回収事業の活動費
- ・ 海岸清掃
- ・ 動植物の保護
- ・ 侵略的植物の駆除と島従来植物の植樹

〔歴史・文化の保全〕

- ・ 島の歴史、文化、を学ぶ為の教育の場
- ・ 八重山諸島の歴史や文化を学んだり体験したり出来る施設の充実
- ・ 史跡等の整備
- ・ きちんとした博物館などの施設
- ・ 文化、遺跡などの説明板
- ・ ボタンを押すと流れる音声ガイド(八重山の言葉、標準語、英語等)。
- ・ 伝統工芸や芸能などの保全や後進教育

〔ゴミポイ捨て及び処理〕

- ・ 観光客のゴミ収集とリサイクル事業
- ・ 海洋ゴミ処理、漂着ごみの除去
- ・ ゴミ箱の設置、回収(観光地、ビーチ、市街地等)
- ・ ゴミ拾い、ビーチクリーン

- ・ ゴミ拾い用のゴミ袋の支給
- ・ コンビニ・スーパー等へゴミ箱設置の処理費補助
- ・ 看板、監視カメラの設置から不法投棄の厳罰化
- ・ 観光客がだすゴミの処理を抑えるような働きかけ
* ゴミの処分量が増えたのは人口増加と観光客増加。観光客の滞在方法が多様化している中、ゴミ処理費用の値上げは市民だけの負担に疑問
- ・ ゴミ処理場の拡充事業や 焼却炉の規模拡大事業
- ・ 生ゴミを燃料に変える取り組み、コンポスト的な事業、クリーンエネルギーの促進

〔下水道整備、悪臭対策〕

- ・ 下水処理施設の建設と整備
- ・ 汚水処理施設の充実

〔公共施設・公共空間の整備、維持管理〕

- ・ 観光地や施設の充実、清掃、保全
- ・ 公園設備への投資
- ・ 公園、公衆トイレ、街路の草花の手入れなどの環境整備に特化した会社の設立
- ・ 観光地トイレ・シャワー等の整備、恒久的な修繕やまめな清掃の実施
- ・ ユニバーサルデザイン、バリアフリーの実現

Q26 宿泊税を充当して実施する事業の具体的なイメージがありましたらご記入ください。 [FA]

市民アンケート調査

①使途事業（続き）

〔景観形成〕

- ・ 守りたい景観や風景を保全するための土地の取得、街路樹や観光地の雑木や雑草など景観阻害要因の除去
- ・ まちなみ景観保全事業支援、景観植栽事業
- ・ 電柱の地中化による、ライフラインの確保

〔交通の充実〕

- ・ 観光客が安全に簡単で安く利用できる交通手段を確保する事業
- ・ 中部から北部にかけての交通の便が充実
- ・ 空港からの移動手段の拡充(EV車両を導入)
- ・ 空港から離島ターミナルまでの本数増加(生活している島民がバスに乗れない事がある)
- ・ 空港と宿泊施設(複数宿泊施設を経由してもいいと思う)のシャトルバスの増便
- ・ 交通系電子マネー等の導入
- ・ 運行本数を確保しながらも効率良く運行できる路線やダイヤに改善する事業の見直し
- ・ 再生可能エネルギー使用による自動運転車両による、まちなか回遊及び市街地⇄空港含む観光スポット巡回バスの運用
- ・ バスの本数を増やす、観光客が立寄る場所の整備
- ・ 自動運転バス(ドライバー不足解消や市内外への分散)
- ・ 深夜早朝便に合わせるバス運行本数の追加
- ・ 電動自転車のレンタサイクルステーションの設置
- ・ シェアライドのシステム構築
- ・ 電動交通を誘致、電動モビリティのシェア拠点設置
- ・ モノレールを新設
- ・ バス会社運転手支援
- ・ 輸送関係者の給料を上げる、地域の住民雇用促進

〔道路・歩道、標識等の整備、維持管理〕

- ・ 道路整備
- ・ 横断歩道やセンターラインや街灯など維持管理
- ・ 大小各ビーチへ向かうインフラ整備
- ・ 信号機の設置

〔駐車場の整備〕

- ・ 駐車場の確保、整備・拡充(平久保灯台、川平、市街地、離島ターミナル、空港等)
- ・ 市民向けの駐車場整備(観光客の駐車で住民利用できず)

〔港湾エリアの整備〕

- ・ 港湾、空港等のインフラ整備
- ・ 美崎町をマリンタウンにする

〔観光人材の確保、育成〕

- ・ 観光産業に係る専門的知識向上
- ・ 観光専門学校等の運営
- ・ 接客業関連職の教育
- ・ 個人の多機能性、リスクリング等の人材移動
- ・ 専用人材を外部から導入するための諸経費
- ・ 労働者確保の観点からも最低賃金の引上げ
- ・ 観光業従事者への還元(主に負担を負っているのは経営者ではなく前線で働く従業員)
- ・ 家賃補助

Q26 宿泊税を充当して実施する事業の具体的なイメージがありましたらご記入ください。[FA]

市民アンケート調査

①使途事業（続き）

〔体験ツアー・イベント・新たなコンテンツの開発〕

- ・ 無料、もしくは少額で島の自然環境や海について、保全を含めて楽しみ方を学べるツアープログラム（機内ムービーなど含めて）
- ・ 花火やイベントを行い、観光客が無料で見れるショー

〔登山道や新たなインフラ整備〕

- ・ サイクリング、ウォーキング、ハイキング等のインフラへの投資（サイクリスト、ウォーカー、ハイカー、マウンテンバイカー、グラベルバイカー、ロードバイカー）
- ・ 於茂登岳をアプローチしやすい環境
- ・ 公営でも良いので登山道入口に靴のレンタル屋の設置

〔赤ちゃんや子ども連れを対象とした事業〕

- ・ 赤ちゃんや子ども連れに優しい公衆トイレ作り。
- ・ 赤ちゃんや小さいお子さんを連れている方のための授乳スペース（お湯有り）やおむつ替えスペース、休憩スペース（エアコン有り）の設置

〔宿泊業、飲食業の高質化、創業支援〕

- ・ 民泊を始めやすくするための説明会やリフォームの補助。
- ・ 飲食業不足改善のために空き家や空き店舗の調査ならびに入札などの実施
- ・ 宿泊業における設備や雇用の改善
- ・ 高単価商品やブランドの開発やコラボ
- ・ 無人店舗コンビニの充実

〔特産品の開発〕

- ・ 石垣産の農産物を使った飲食店メニュー開発
- ・ 高単価商品やブランドの開発やコラボ

〔施設整備〕

- ・ mice.コンサート、スポーツイベント対応のアリーナ
- ・ 郊外に道の駅のような、トイレと地域売店の一体型のものを複数作る。その中で地域の文化やマナーへの周知も行なってほしい。
- ・ 南ぬ浜町に富裕層向けの高級ホテルとショッピングモールを建設
- ・ ヨットマリーナの建設（欧米の観光地と比較するとヨットやプレジャーボートの係留施設があまりにプアー）。
- ・ 空港周辺地域の開発 観光客が宿泊でき、ショッピングができるだけでなく、市民も楽しめるような商業施設の開業。
- ・ バーベキューエリアの設置
- ・ 美ら海水族館みたいな石垣島ならではの水族館の建設・運営。
- ・ マリンレジャーや山登りから戻った方たちの道具や器材の洗い場や干し場の充実

〔仕組み・システム〕

- ・ 長期滞在を促進するシステムを検討

Q26 宿泊税を充当して実施する事業の具体的なイメージがありましたらご記入ください。 [FA]

市民アンケート調査

①使途事業（続き）

〔観光案内・情報発信、多言語対応〕

- ・ 交通拠点に案内処設置(例：美崎町)
- ・ 市公式の観光ウェブサイト。(多言語)
- ・ 多言語対応に出来るもの全て(看板、メニュー、案内表示、人、など)
- ・ 語学研修が無料でできるシステム
- ・ 人材や通訳などの補助
- ・ インバウンドにむけて住民へ英語の習得補助
- ・ 観光業へのインバウンド支援。翻訳機配布や広告文の翻訳サービス
- ・ マーケティング力、計算力、発信力のあるインフルエンサー市民を重視し観光振興に起用

〔AI、IT活用等〕

- ・ AI導入に係る事業
- ・ 入島する人数について、AIを利用して、適正な数、適正なサービスを提供できる数、又は受けられる数を算出

〔地元民への還元〕

- ・ 地元民へ還元(飲食店で5%引き等)
- ・ 観光客のためにだけでなく、地元の子供達の為にもなるものを作ってほしい。ROUND1やスポッチャ。ボール遊びが出来ないような公園を作ったりするよりはかなりマシ。
- ・ 島民の就職に繋がる事業に充ててもらいたい。
- ・ 島民への還元等の島民とそれ以外の差別化された島民が喜ぶ事業

- ・ 島民割での大浴場利用
- ・ 住民税を安くするなど市民への還元
- ・ 観光産業以外の人も含め、全島民が恩恵を受けられる政策、物価高対策や住民税引き下げ

〔閑散期対策〕

- ・ 閑散期の集客。例えば各宿泊施設で使える共通クーポンの設定や、首都圏での誘客推進活動費に充てる

〔雨天時対策、屋内施設整備〕

- ・ 雨天時の観光、体験の充実。
- ・ 天候不良でも楽しめる大型屋内施設を作る。物販、体験教室、動物・魚等との触れ合い、ドッグラン等
- ・ 例えば、こども連れが多いので室内プールを(ゴミ焼却燃料使用したり)室内で木を使った遊び場
- ・ 悪天候時や高齢者向けの観光施設

〔台風、災害時の対応〕

- ・ 観光防災の強化
- ・ 台風などで閉じこもっている時のサービス(30年ほど以前に、ディスコ大会があった)
- ・ 断水、停電、台風による被害軽減
- ・ 災害時の道路標示、備品管理を外人含めた観光客対応の準備
- ・ 危機管理対策。観光地でもあるが国境の最前線でもある石垣島がいつまでも安全とかは限らない。地震や津波災害などもいつ起こるかわからない。5万を超えた市民の安全対策を徹底して欲しい。

Q26 宿泊税を充当して実施する事業の具体的なイメージがありましたらご記入ください。 [FA]

市民アンケート調査

①使途事業（続き）

〔治安維持〕

- ・ 治安の維持(繁華街での夜間パトロール)
- ・ 防犯カメラの多数設置

〔ルール、マナー、モラル〕

- ・ 観光客にマナーを周知して貰う為のウェブサイトやリーフレットの作成。
- ・ 観光客へのマナー周知説明板設置など。
- ・ 観光客への教育活動
- ・ 各観光地への警備員配置（マナー、治安維持）
- ・ 海水浴客、ダイビング客に安全な行動の具体的な指導のビデオを飛行機の中で見せる。飲酒しての海遊びの危険性、内地の感覚では小さな波でも珊瑚礁では危険だとか、足が届くと安心してたら急に深みがあるとか、クラゲ被害の防止策とか。
- ・ 路上タバコ規制、ポイ捨て禁止条例
- ・ 喫煙場所の設置 歩きたばこ、煙草のポイ捨て、路上喫煙禁止条例を作り、指導員を配置し指導や過料
- ・ 観光客のマナー違反による罰則規定
- ・ 水難事故防止のための人員配置や自然保護を目的とした密猟監視などの啓蒙活動など

〔事業の許可制、登録制〕

- ・ 良質な事業者の評価制度設立
- ・ ガイドの登録制
- ・ エコツーリズムを強化し、ガイドを育成、適正なツアーを催行する業者を市で認定しバックアップするなど、提供するサービスの価格と質、安全性を上げる取り組みをしてほしい。
- ・ エコツアーの割引券の配布。①認可を受けたり、試験に合格したガイドや団体のツアーのみ有効とする。→レベルの保証と仕事の誘導を行う ②認定や試験の項目に、学校の総合や遠足の際のガイド実習を行う。→ガイドとしての力を見とるとともに、児童生徒の地元の自然への興味関心を高める。
- ・ エコパスポートをつくる(宮古島で実施しているような)。

市民アンケート調査

②制度全般

〔指針、方針〕

- ・ 「指針」をまず制定すべき

❖観光客への還元

- ・ 見えないものより観光客から見えるものに使用するべき(ゴミ箱、トイレ整備など)
- ・ 税を払っていることで、還元されている(よくなっている)サービスだと目に見えるもの
- ・ 払うのは観光客、観光客に還元する施策が望ましい。
- ・ 今後も石垣を訪れたいくなるように環境整備する必要がある。
- ・ 観光客も喜んで支払いたいと思う事をしてほしい。
- ・ 負担する観光客の理解、賛同が得られる事が不可欠。
- ・ 宿泊税は何に使うためのものか明確にし、実際に支払う観光客が理解し賛同できなければ双方メリットなし。
- ・ 宿泊税を取ることによって観光客の意識向上等に繋がる取り組みが必要。
- ・ 観光客受け入れに関するサービス業、接客、リピーター増加に繋がるものに充ててもらいたい。

❖充当する事業の優先順位

- ・ 様々な課題があるなかでも、ハードよりソフト面を拡充すべき(ハード面を強化してもそれを活用するソフト面(基礎知識や理解、技術などのリテラシー面)が向上しなければ点と点が結び付かず、結果的に効果が薄まる)
- ・ 最も効果のある事業に、資源を集中する。様々な取り組みに散財しても効果は出ない。

❖充当する事業

- ・ 必要最低限に留める
- ・ 新規事業ではなく、今ある環境や施設の保全・整備に力を入れて欲しい。
- ・ 観光客の増加により、これまで必要としなかった観光スポットのトイレや駐車場などのインフラ整備やビーチ等での安全対策の強化、観光客用の災害時等の備蓄や一時避難の受け入れに係る経費に当てるべき。

❖充当すべきでない事業

- ・ 観光事業者の為の支出やそもそも行政が本来すべき住民や事業者へのサービスに支出を充てるべきではない。
- ・ 宿泊を伴わないクルーズ客や市民住民向けのサービスに充当すべきではない。

❖充当する事業の範囲

- ・ 宿泊税を徴収するなら、宿泊事業者を中核にした観光業全体への取り組みに充当すべき。
- ・ 観光振興に限定しないで欲しい。離島のキャパシティに見合わない人数の増加によりインフラ(上下水道の整備)が追いついてないことは明らか。

Q26 宿泊税を充当して実施する事業の具体的なイメージがありましたらご記入ください。 [FA]

市民アンケート調査

②制度全般（続き）

◆特別徴収義務者

- ・ 一定金額以上の宿泊に対して税を取るなど
- ・ 民泊なども必ず対象にする。
- ・ 石垣市内に本社を置く企業からは宿泊税を取らない上に優遇

◆税率

- ・ 東京都と同じように、例えば15,000円の宿泊料に区別をする。それ以下1,000円、以上で2,000円など。
- ・ 福岡県のように単価を決めて支払う。

◆徴収方法、コスト

- ・ 観光のワクワクした気持ちを都度税金徴収をされるのはマイナス感情がかかる。税金徴収の方法やタイミングも現場現金だけでなく、スマートに多彩な決済方法（ポイント活用やQR払い等）で、ローカルの人々は免除して欲しい。
- ・ 回収に無駄な税金と膨大な手間がかかるのでは
- ・ 空港・港で一人一人個別に支払ってもらう方法はないか。

◆報償費

- ・ 税の一部（1~10%）などは宿泊施設に管理費としてあげてを検討
- ・ 一部、宿泊税の徴収に係る手間として事務手数料等の宿泊施設へ支出は問題ない。

◆説明、周知、情報公開

- ・ ただ取るだけでなく、宿泊税の使い方や何故必要なのかの周知をすることが大事。搾取されているという意識を取り除く取り組みが必要。
- ・ 宿泊税を、何に使ったかを具体的にわかりやすく、誰でも目に留まる所に張り出す

◆事業選定、執行体制

- ・ 市や商工会 コンベンションビューローなど団体がチームにならないと重なったお金の使い方をするのでチームになり民間に依頼をするなど

◆税金の管理

- ・ 特別な事業を行わず一般財源として使用

市民アンケート調査

②制度（続き）

〔クルーズ船客〕

- ・クルーズ船船客は宿泊しないので宿泊税は課税されない。クルーズ船からの入島税を1人千円徴収し観光関連(二種免許補助)に充当。

〔宿泊税の導入そのもの〕

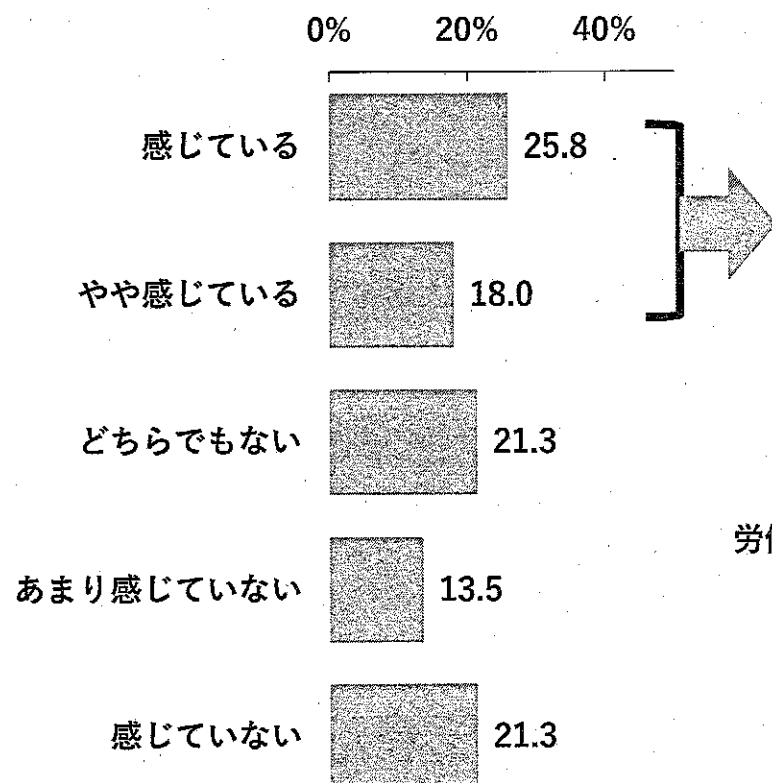
- ・石垣市は自然を売りにしたいのか発展開発したいのかよくわからないので、現状宿泊税を導入するべきではない。
- ・宿泊料金に含めて宿泊税と入島税を空港、港でのお願いではなく全員から取る。
- ・宿泊者が負担する税なので、宿泊関連の施策に使わざるを得ない気がする。宿泊税と言うより観光税か入島税と言う名前の方が多岐にわたって使えるイメージがある。
- ・宿泊税より普通に観光税で移動手段に工夫して徴収した方が的確 民泊がかなり多い。
- ・税として打ち出すのではなく、乗船券や、航空運賃に追加する形はどうか。
- ・宿泊税に断固反対。市民が直接収入を得られるようにすべき。せっかく増えた観光客が減ってしまう。
- ・宿泊税でわざわざ収入確保するまでもない。ふるさと納税等のような他の財源を検討すべき。
- ・観光客に頼らず宿泊税を徴収するのではない財源を見出すべき。離島観光は宮古島にすべてもっていかれる危機感を考えるべき。

- ・宿泊税ありきの議論はどうか。
- ・宿泊税には断固反対ですが、導入するなら一部の大企業だけが恩恵に預かるようなことはしないで下さい。
- ・小さい業者の負担が増えてしまう。
- ・専用の窓口を作り空港でとるべき。
- ・あまり取らないほうが良いと思う。
- ・こんな小さな島に来てくれるだけで有り難いの、に、宿泊税取るとかおかしい。私が観光客なら宿泊税が出るなら石垣には来ない。
- ・宿泊税を考えるよりも、現在の税収の使い方を見直すべき。
- ・宿泊税反対 予算の使い方次第で宿泊税はいらないでしょう。
- ・なんでもかんでも税金をとって。宿泊税はやらないほうがよい。やるなら、島の子供たちに宿泊税を充てたほうがよい。なんのための観光なのかを考えてほしい。
- ・宿泊だけに税金を掛けるのは不公平。

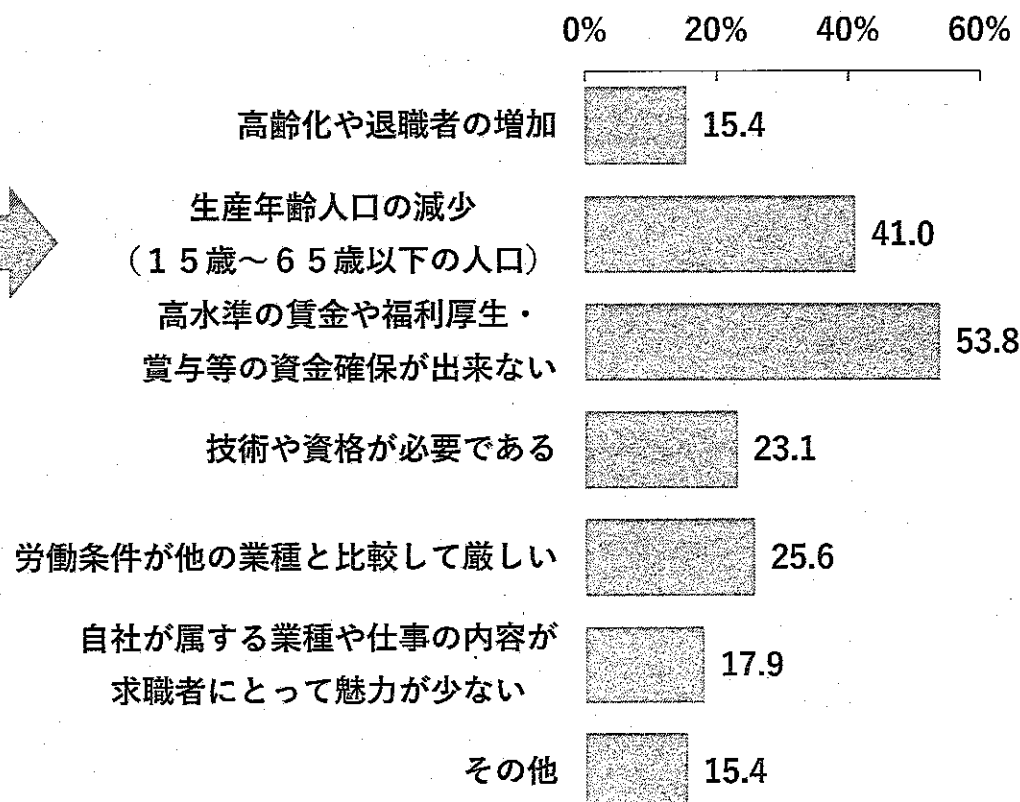
市民アンケート調査

人材の確保・育成、労働環境の改善について

人手不足を感じているか (n=89)



人手不足の原因 (n=39)



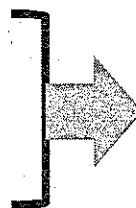
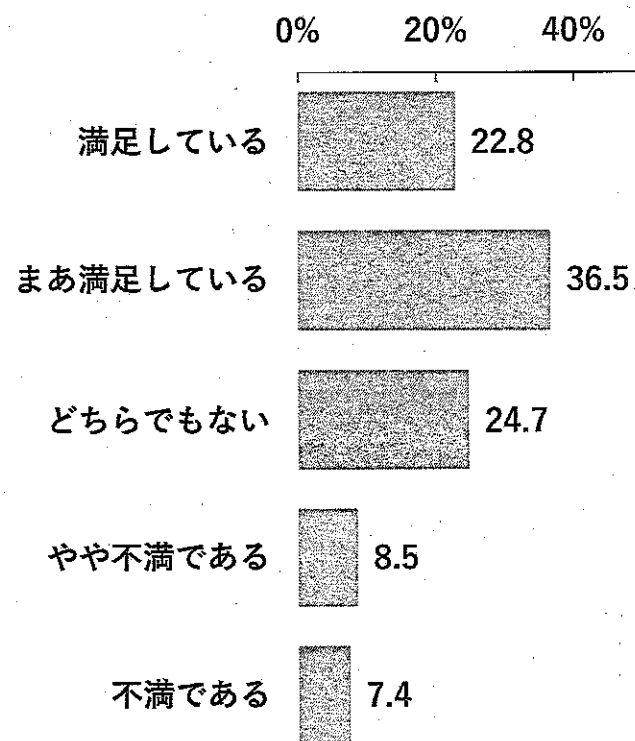
[観光業の経営者に対して]
Q27 貴施設・貴事業所において、人手不足を感じていますか。[SA]

[前問で「感じている」「やや感じている」と回答した方に対して]
Q28 貴施設・貴事業所において、人手不足の原因として考えられるものを教えてください。[MA]

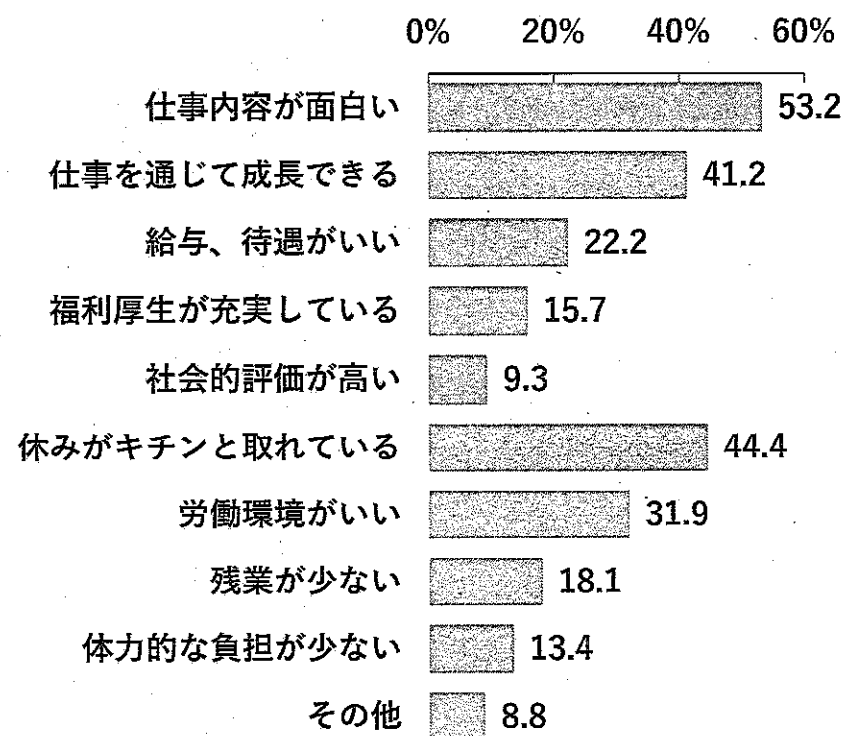
市民アンケート調査

あなたの勤務先や仕事に対するお考えについて

現在の仕事への満足度 (n=364)



満足度の理由 (n=216)



[観光業の経営者以外の方に対して]
Q30 総合的に判断して、現在の「仕事」に満足していますか。[SA]

[前問で「満足している」「まあ満足している」と回答した方に対して]
Q31 その理由を教えてください。[MA]

高校生を対象とした アンケート調査結果

項目	内容
目的	高校生の石垣市の観光に対する意識を把握する
対象	市内4校に通う高校生 ・八重山高等学校 ・八重山商工業高等学校 ・八重山農林高等学校 ・沖縄県立八重山特別支援学校
実施方法	学校の先生を通じて調査を告知QRもしくはURLからWEBアンケート調査画面にアクセスし、利用者が各自回答
回答期間	2024年2月1日(木)～2月16日(金)
設問数	14問(基本属性、石垣市の観光に対する意識等、観光業界での従事経験等)
回収数	661票

石垣市の観光に関する 高校生アンケート調査

石垣市では、市内の高校に通う高校生に対して石垣市の観光に関するアンケート調査を実施しております。ぜひご協力をお願いします。

回答にあたって

- ・お一人につき回答は一回までとなります。
- ・市内の高校に通う高校生すべてが対象です。竹富町などから通学される方も対象です。
- ・ご記入いただいた内容は統計的に処理いたしますので、調査の趣旨以外の用途に用いられたりすることはございません。
- ・回答内容に応じて次に表示される設問が変わります。
- ・不明な点があれば石垣市観光文化課（下記詳細）へお問い合わせください。

回答期間

令和6(2024)年2月1日(木)～2月16日(金)

石垣市の観光に関する高校生アンケート調査

3 / 14

■石垣市の観光について

石垣市では、10年後の“あるべき姿”「持続可能でより良い社会を求めて世界中の人々がつながるまち～石垣島の未来は地球の未来～」の実現を目指して、観光振興に取り組んでいます。

Q4.

あなたは石垣島は観光地だと思いますか。

*

☐ 思う

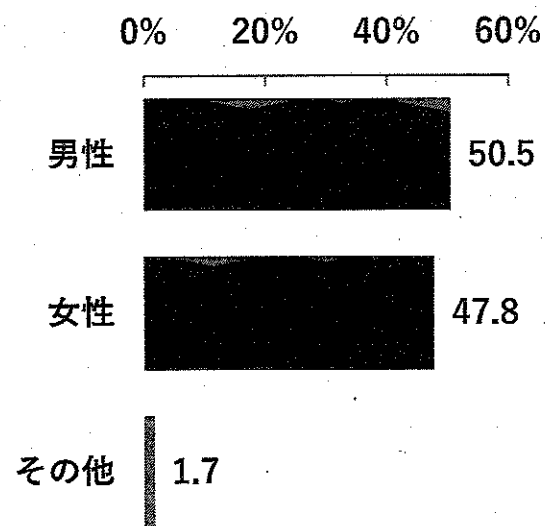
☐ 思わない

☐ どちらでもない

高校生アンケート調査

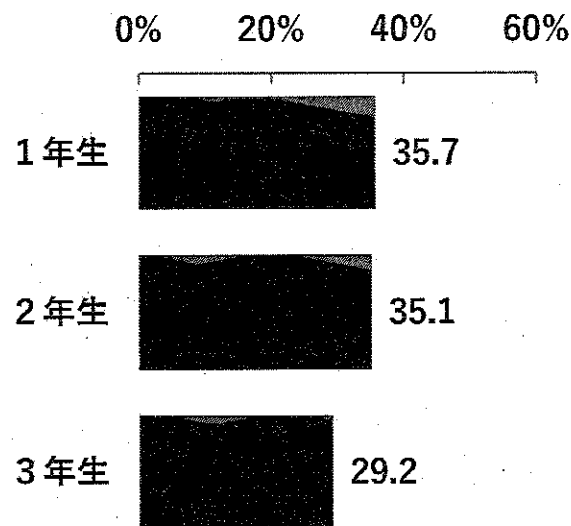
回答者の属性

性別 (n=661)



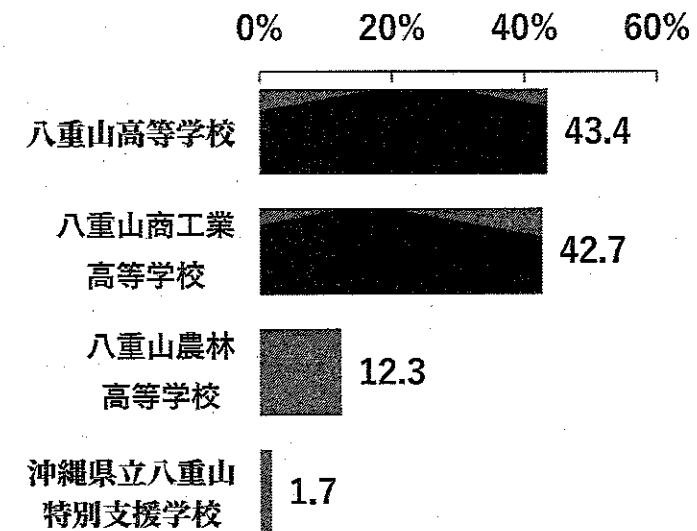
Q1 あなたの性別をお答えください。[SA]

学年 (n=661)



Q2 あなたの学年をお答えください。[SA]

学校 (n=661)

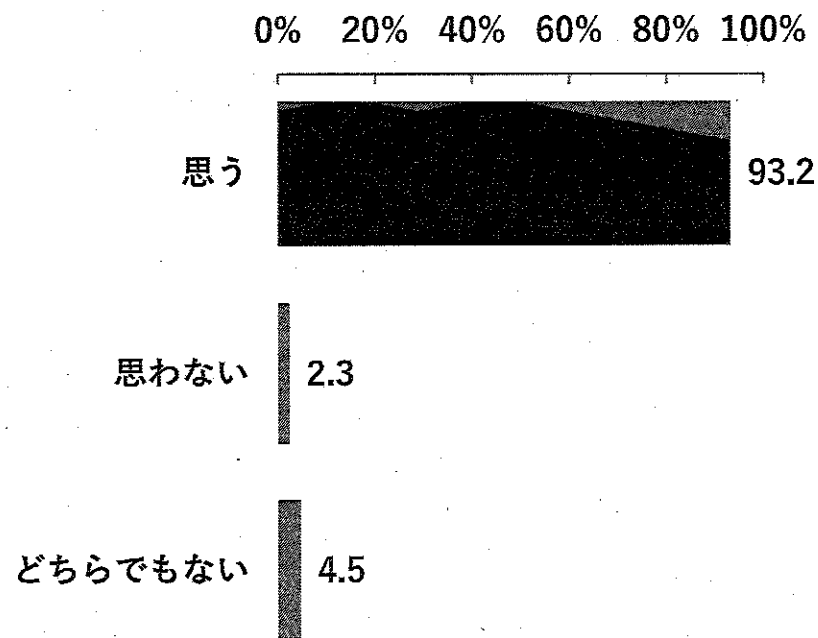


Q3 あなたの通われている学校をお答えください。[SA]

石垣市の観光について

石垣市では、10年後の“あるべき姿”「持続可能でより良い社会を求めて世界中の人々がつながるまち～石垣島の未来は地球の未来～」の実現を目指して、観光振興に取り組んでいます。

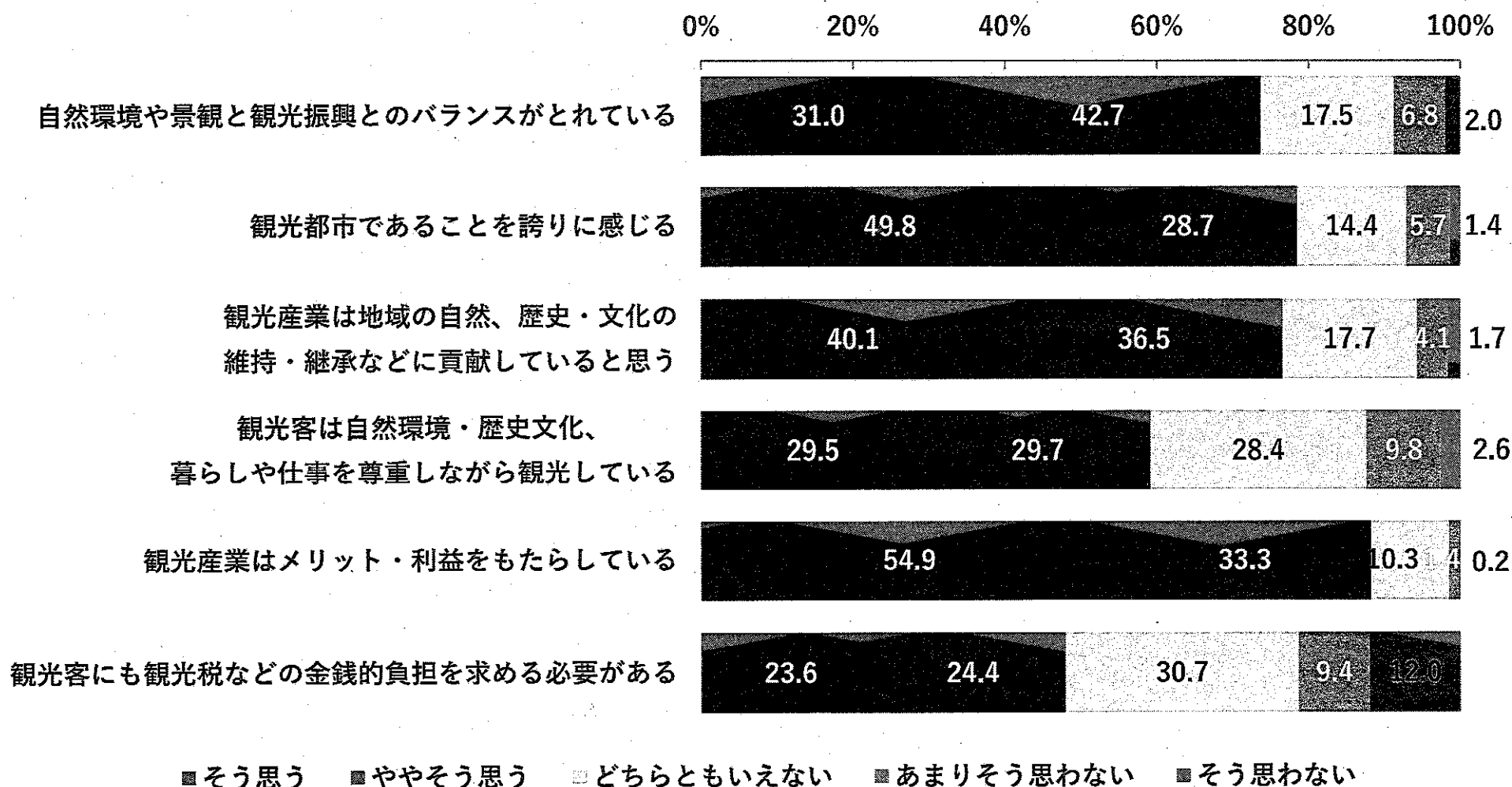
石垣島は観光地だと思うか。(n=661)



Q4 あなたは石垣島は観光地だと思いますか。[SA]

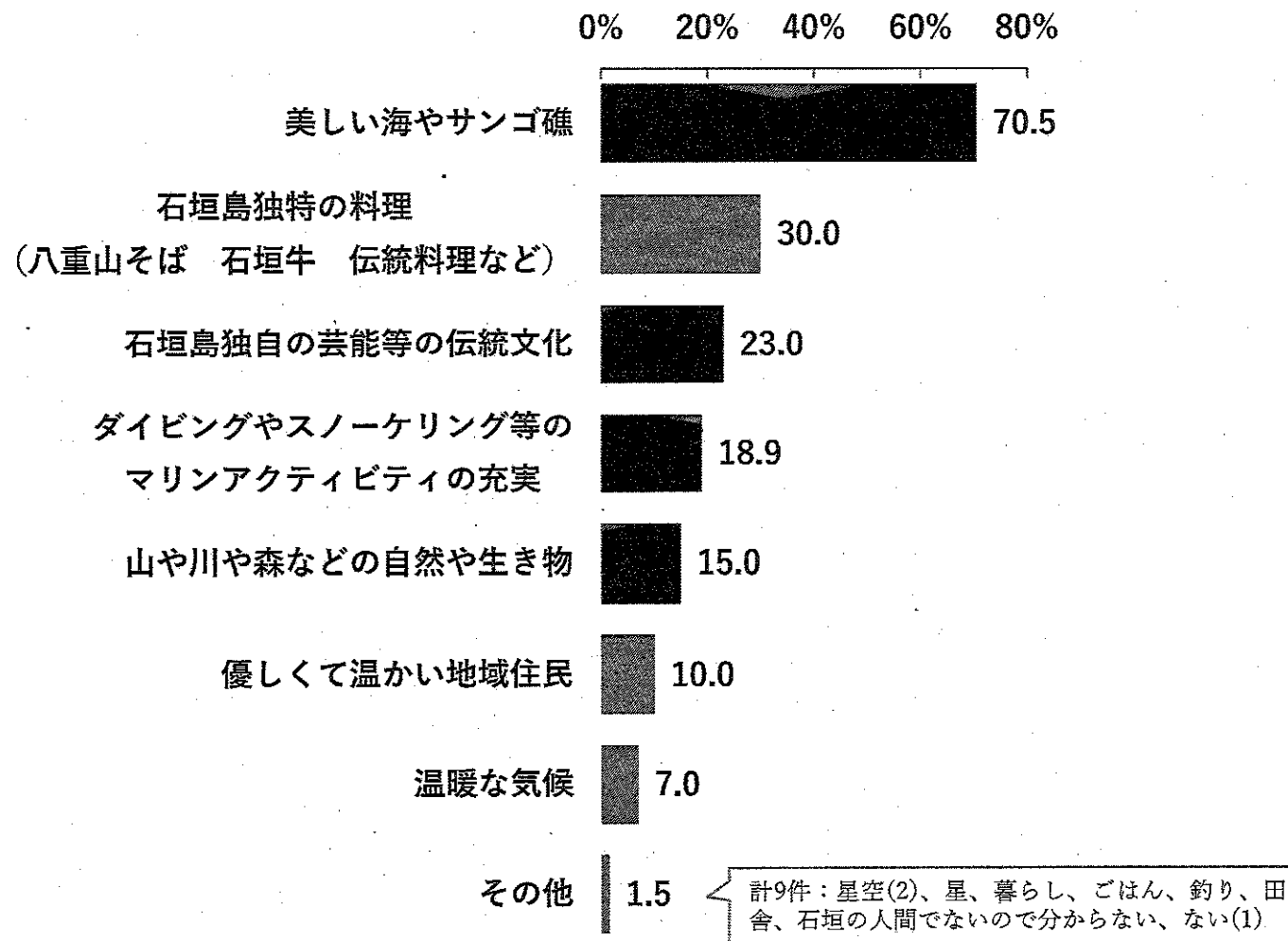
高校生アンケート調査

石垣市の観光について (n=661)



Q7 石垣市の観光の上記の項目についてどのように感じていますか。[各SA]

島外の知り合いや観光客に伝えたい石垣島の魅力 (n=661)



Q9 あなたが島外の知り合いや観光客に伝えたい石垣島の魅力は何ですか？ [MA]

Q10 前問で「その他」を選ばれた方は、具体的な内容を教えてください。 [FA]

高校生アンケート調査

石垣島への期待、要望 418件

〔市民、学生が遊べる場所、楽しめる場所〕

- 遊ぶところをもっとあって欲しい/遊ぶところ何もない/遊ぶところ少ない/遊ぶ場所が増えて欲しい/遊べるところが増えればいい、行くところが海ぐらいしかない
- 学生からしたら遊び場が欲しい/学生の遊ぶ場所があればより良くなる/学生が楽しめる島、また戻ってきたくなる島/島の学生が使えるような屋内スペースをもっと増えればいいのになと思います。
- 地元の人が遊べる施設/地元の人でも楽しめる場所が欲しい/もっと子供たちが遊ぶ場所を増やしてあげて欲しい/もっと子供たちが遊べるスペース欲しい/子供が遊べる空間が欲しい
- 最近この島ではマンションやアパートしか無いので出来れば遊ぶ所があったらいいのに

〔ショッピングモール、飲食店など〕

- もっとショッピングできるところが増えて欲しい
- いろんなお店があるといい/お店をたくさん増やす
- 大きな商業施設を増やして欲しい/飲食のチェーン店、大型商業施設があったらいいと思う
- ショッピングモールなどもあって沖縄限定なものとかたくさんに売ったり作ったりなどショッピングもできたらいいと思う
- もっとショッピングモールを増やして欲しい
- ご飯屋さんが増えて欲しい/オシャレで手軽な飲食店が沢山あるといい/ご飯食べる所があればいい

〔映画館・テーマパークなど〕

- もっとアミューズメント施設が欲しい/娯楽施設が少ないと感じる
- 映画館がほしい/映画館があったら島民は喜びます/映画館やデパートなどの地元住民の快適性が欲しい/映画館を作って欲しい
- もっと水族館、映画館などの施設がほしい
- 地元の学生が遊べるようなテーマパークのような施設/子供から大人まで人気のパークを作ってほしい
- 島外に出てくる人たちに理由を聞いたところ遊べる所が少ないと言っていた。もっと遊べる場所や映画館が必要。
- 博物館を大きくする、地元の人が気軽に来れる施設をもっと増やす

〔公園〕

- 公園などの施設が増えてほしい/学生や子供の遊ぶ場所が少ない（公園でボールが使えない）
- 空港の近くに公園を作って欲しい。そしたら、たくさんの観光客や地元住民が来ると思うから。

〔生活用品〕

- とにかく不便だから生活用品を買える店舗があったらいいな

〔キャンプ場・スポーツ店〕

- キャンプ場をもっと欲しい
- スポーツ店などがあったほうがいいと思う。

高校生アンケート調査

〔勉強するところ〕

- 勉強するところ、遊ぶ所がすくない。

〔電子マネー〕

- 電子マネーが使えるところを増やしてほしい

〔雨天時の施設〕

- 雨が降った時にやる事があまりないから、雨が降ってても楽しめる施設とかがあったらいいと思う/屋外の観光スポットしかないから、屋内の観光スポットを増やす
- 屋内で遊べるものなど発展していったほしい

〔自然〕

- もっと自然とかかわれるところが増えたらいい/自然を生かしたアスレチック遊具があったらいいと思います。
- もっと自然を楽しめるリラックスできる場所が欲しい

〔アクティビティ〕

- 地元の人ほど、ダイビングや山登りなどをしてないため、地元の人でも参加できるツアーをしたらいと思う
- 観光の人だけではなく、地域の人でも楽しめるアクティビティを増やして欲しい

〔地元割〕

- 地元民にもっと優しくする
- 地元割を作る

〔地元民のため〕

- もうちょっと市民に寄り添って遊べるところを増やせるようにするべき。特に学生向けに作るべきだと思う。
- もっと島民の暮らしを大切にする/島民にも便利な島になってほしい/島民ファースト
- 観光客だけでなく、住んでる私たちにもなにか恩恵がある企画を考えて欲しい。これでは、1ターン化が起きてしまうと考えたので、住み続けたい石垣島をもっと作ってほしい。
- 観光客だけでなく地元の学生にも人気になるような場所があると良いと思う。/全部観光客向けだから地元民も楽しめることも作った方がいいと思う。/観光客だけではなく、地域の人も行きやすいお店ができたらいいなと思う、
- 観光客のことだけでなく、住民のことも考えた施設を作ってほしい。観光客が増えても住む人が増えなければ意味がない
- 観光客のためにホテルとか建てるのはいいけど、学生の遊び場者も作って欲しい
- 観光客も大切だが、それ以上に市民への待遇を厚くして欲しい（路線バス増便など）
- 観光客向けの店じゃなくて、島内の人達も気軽に寄れる店がほしい
- 観光客重視もいいけど、島の人の方がよりよく住める島になってほしい。色々なお店を増やしてほしい。

高校生アンケート調査

〔観光客、住民ともに〕

- 観光客とも楽しめる島/観光地と地元民がさらに絡めるようなことがあればいいと思う
- 住みやすい 観光客と地域住民のバランスや環境
- 観光客が訪れるような場所が730しかない 観光地はもちろん、地元の人も遊べるような場所を市街地にも作り、広く石垣島が活性化すればいいなと思う
- 観光業は盛んだが、地元の人も楽しめる施設を建てたりしたら、移住してきたりして住民も増えると思うし、活性化する。

〔物価〕

- もっと物価を安くしてほしい/物価高すぎ
- 物価が高いから、島から出て帰ってきた時に住もうと思わない。石垣に帰ってきたいと思ってるから、どうにかしてほしい
- 物価上昇が激しいのに対し、各家計の生活が苦しい。物価に対しての給料が安すぎる。観光業で発展してるのに、アベレージが低いから、学生としてバイトしてても全然お金たまらない。

〔物流〕

- 送料がもっと安かったらいい。

〔観光客の行動、マナー〕

- 観光客のマナーがよかったらいい
- 観光客が邪魔 歩道が通れない
- 観光客が出すゴミのポイ捨てが多いように感じるので、もっと街中が綺麗だったらいいのに。
- もっと観光客に教育してほしい。よくポイ捨てしてる観光客多い。
- 米原ビーチ行った時に観光客が生きているサンゴを踏んだりしている。(踏んだらサンゴ死ぬ)
- 730交差点付近に人が集まりすぎて登校の邪魔になってる時があるから対策考えてほしい。
- 空港とバスターミナルを繋ぐバス路線で、観光客の方も多く利用するため、大きいキャリーケースなどで幅とったりなどで、島民として不便に感じる人が多い。バスも1時間に2本しかないので、観光客が利用するバスと市民が使用するバスを分けてほしい。

〔観光客への対応〕

- 石垣島は、雨の日も多く、傘が必要になる。傘の回収箱とかが空港とかにあってもいいと思う。ホテルに置いておくとそのまま廃棄になると聞いた事があるから、環境的にもあんまり良くないので、回収箱に入れてもらって、再利用か何か出来るといいと思う。

高校生アンケート調査

〔ゴミ問題〕

- ゴミがなく、軽石も無く 綺麗な海/ゴミがなく、石垣島のどこの海にもゴミが落ちてないといいと思う。
- ゴミが減れば良いと思う/ゴミが少なくなれば島の見栄えが良くなりそう
- ゴミのポイ捨てが減ること
- タバコの吸い殻などの、道端などに捨てられているゴミがゼロになるぐらいに無くなって欲しい
- 落ちてるゴミが減ったらいいのに/道にゴミが無い/道端にゴミなどが落ちていない町。
- 海に漂着ゴミや不法投棄が無い
- 海のゴミを拾うビーチクリーニングをする/海綺麗にするボランティアが広まるようにしてくれたらいいと思う
- 海を汚す人たちが多くてせっかくきれいな海なのに立ち入り禁止とか、ビーチで遊んじゃいけないとかがあるから、きれいな海を保ちつつ、立ち入り禁止以外の対策を考えてくれたらうれしい。
- 観光ツアーの中にビーチクリーンなどを取り入れ、国内外に海が危険に侵されていることを伝えることをしたらより良い石垣島になると思う
- もう少しゴミ箱を増やしてほしい
- ゴミの分別が大変/観光客のゴミの分別問題を解決するべき、観光客が多い時に地元民のことをもっと考えるべき。
- 見えない所にゴミが多すぎる。観光客に見られないところでも綺麗にしとくべきだと思う。
- 観光名所の海ばかりではなく、住宅地の周りの海のゴミがもっと減ったら嬉しい

〔移動手段〕

- 移動手段を増やして欲しい/移動が便利だったらいいのに/移動手段の充実/
- もっと公共交通機関が発達してほしい
- タクシー安くなって欲しい
- バスにICカード使えるようになってほしい
- バスの終電がはやい
- タクシーを呼んでも距離があるので来てもらえない
- バスの数。現在観光客が多く地元住民がバスを利用できない場合がある。
- もっとバス停とバスの本数が増え、アクセスが良くなればいい
- もう少し交通の便が整っていただきたいと思います。タクシーも少なく、バスの便も減ったので島民も不便に感じていると思う。人手の確保は大変だと思うがそこがもう少し充実したらいいと思う。
- 交通面がもっと便利だったら、観光客もだし 現地の人も楽になると思う
- モノレールができれば、海とか眺められると思います
- 空港とバスターミナルを繋ぐバス路線で、観光客の方も多く利用するため、大きいキャリーケースなどで幅とったりなどで、島民として不便に感じる人が多い。バスも1時間に2本しかないので、観光客が利用するバスと市民が使用するバスを分けてほしい。

高校生アンケート調査

〔歩道、道路〕

- 歩道の幅を大きくする/道が広くなって欲しい。
- 道のボコボコ直して欲しい/歩道がガタガタして
いて歩きづらいので、整備してもらえともっと
多くの人が観光に訪れやすくなると思う
- 自転車環境（駐輪場、自転車専用レーンetc）を
整備する。石垣市内はほとんど自転車で移動でき
る&観光客もよりよく利用できる&自転車利用が
多い高校生のためにもなる。

〔街灯〕

- 暗いところが多いので街灯を増やしてほしい街灯
を増やしてほしい
- 夜景を売りにしているのは良いと思うが、街灯が
少ないことで日暮れ後の帰宅が危険だと感じる部
分がある
- 街灯がもっと多かったらいいと思う その方が夜
も観光しやすい
- 街灯が少ない地域がまだあるから、街灯を増やす
- 観光に来ている人は夜もいろんなところに出かけ
ると思う。街灯をもっと増やした方がいいと思う。

〔街の環境、景観〕

- 街の整備を整えてほしい（廃屋の整備や、荒れ
てる道路の整備等）
- 景観のための草木なら（掃除もされずに道も汚い
ため）、無くして広い歩道を作ったら良いのにな
って思う。
- 川平湾周辺に多くの木が生えている所を海が見え
るように少し切ったほうがいいと思う

〔開発、発展に対して〕

- 観光業を増やすために自然がなくならないように気を
つけてほしい
- 大きなショッピングモールを自然を壊さないように自
然を活かして作ってほしい。
- 現代的な施設を増やすより、島の自然環境を保護する
ような活動や施設を増やすべき。
- ゴルフ場やテーマパークを作らず山など自然を大切に
したらいのと思う。
- ホテルだけをたくさんつくるのはやめた方がいいとお
もう。他にも作らないといけないものはたくさんある
と思う。/ホテルの高さ制限などの、法整備をしっかり
やって欲しい
- ホテルやゴルフ場を建設するのではなく、今ある石垣
島の自然や伝統芸能などを保全し、活かした観光をし
てほしい
- 何か環境保全の方針を立てた上で、建設の際に明確に
これはやらないって約束すべきだと思う。
- 観光客向けのお金儲けのために自然を壊すような島で
はなく、観光を自然や文化の保護、継承に役立てられ
るような島。車移動が多い島だからこそ、クリーンで
使いやすい移動手段の確立。観光客向けに作られただ
けの島ではなく、住んでいる人の暮らしや文化や自然
を大切にする島。
- もう十分です/あまり発展し過ぎなければ良いなと思っ
た

高校生アンケート調査

〔観光業の支援〕

- 石垣の観光業とか、飲食店を経営してるのが内地の人が多から石垣の人に積極的に進めてやられた方がいいと思います。
- 新しい事業などを始めようとしている人を反対するのではなく、応援してあげる。
- 島から出て進学をする人への支援をたくさんするのいいと思います。
- 自然が豊かで、道が見通し良かったいいと思う

〔自然保護〕

- 自然にもっと配慮して欲しい/自然を大事にして欲しい/自然を大切にする/自然の保護をさらに多くして欲しい/もっと自然環境を大切にしてほしい/貴重である石垣島の自然をもっと保護してほしい。
- 温暖化での海への影響が多く、サンゴが白くなり亡くなっているからサンゴを増やすことがいい
- マングローブをもっと育ててほしい
- もう少し生き物たちをいかにするようにしてほしい
- もっと自然を守るべき、この景観や伝統文化がこの先100年も200年も続くようにあたりまえと思わず石垣島の自然をもっとしっかり残す！！！！
- 観光地となっている石垣市なのでずっと綺麗な海や景観を保って欲しい。

〔伝統文化〕

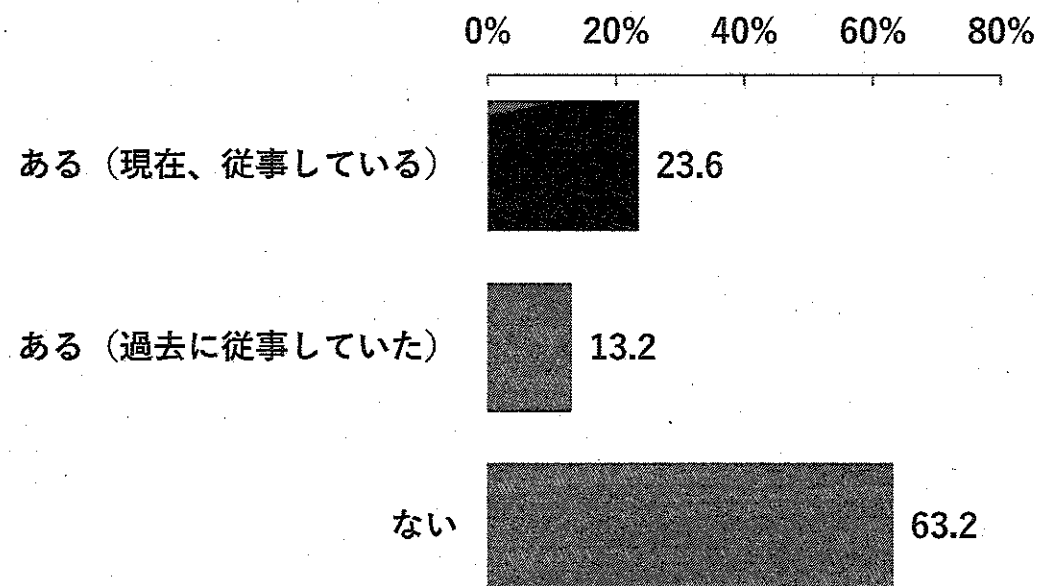
- 若者が残るような場所も作れば、石垣島から出る人が少なくなるから伝統継承者がいなくなる
- 文化を全面に押し出す
- 方言など古くからの文化がもっと盛ん
- もっと日常会話で方言を話す地元民が増えて欲しい！！

〔市政に対して〕

- 目標を定めて市民にちゃんと共有する。
- これからも、地域に寄り添った石垣市であることを願ってます！
- 市が行っていることを市民の意見を聞いて行う。
- 市を通しての取り組みがあまりないと思うので、もっと積極的に取り入れて良いと思う。

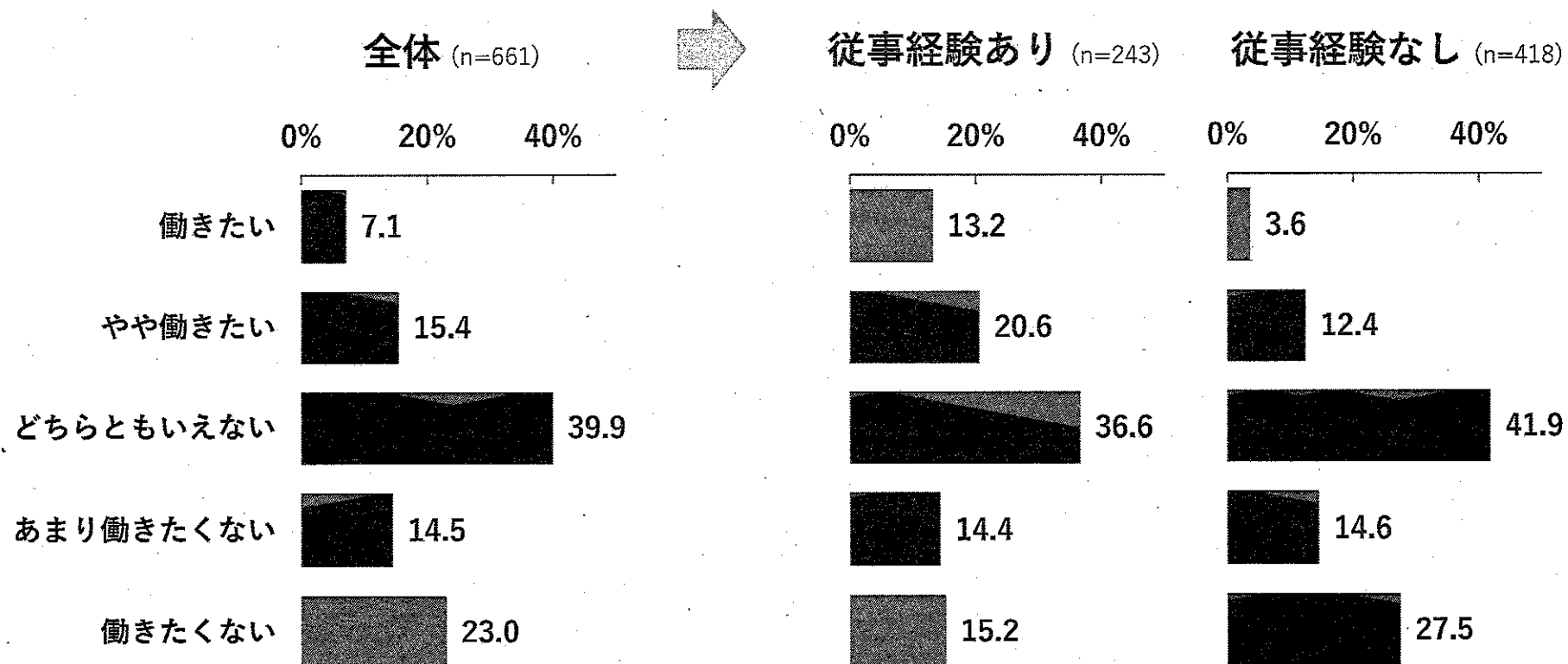
観光業界での勤務経験等について

観光客を対象とした仕事の従事経験 (n=661)



Q12 あなたは、これまでアルバイトなどで観光客を対象とした仕事に従事したことがありますか。[SA]

観光業界での従事意向



Q13あなたは、将来、観光産業で働きたいと思いますか。[SA]

7-2 宿泊税

(2) 宿泊税導入地域

■ 宿泊税

- ✓ 宿泊行為に対してかける法定外目的税。
- ✓ 国内では2002年に東京都で導入されたのが最初。その後、大阪府(2017年)、京都市(2018年)、金沢市(2019年)などが導入し、全国各地で宿泊税導入を検討する議論が行われている。
- ✓ 近年では、1泊1人200円の定額制(宿泊料金によって段階設定するケースもある)が標準的であるが、2019年には倶知安町が初めて定率制(2%)を導入した。
- ✓ 2018年度には福岡県と福岡市がそれぞれ宿泊税の導入を表明。二重課税となることから、観光客への負担増大や徴収事務の混乱などを避けるための協議を開始し、2019年5月に合意が得られた。
- ✓ 2024年現在、国内各地で宿泊税の導入に向けた検討が進められている。

